

「意識の流れ」 ホームページより

私の瞑想より  
vol.2

—  
目次

## テーマ「宇宙」

- 4 私は、アルバートとともに母なる宇宙へ帰る意識です。……………18
- 48 心で体験していく以外に分からない世界。それが波動、エネルギーの世界、そして次元移行へ至る時間。……………19
- 57 二五〇年に至る時間は、宇宙に広げてきた闇黒の世界とともに歩みを進めていく時間です。……………21
- 58 宇宙を思い瞑想をすることが現実に関、嬉しい、喜びと感ぜられる方と、そうではない、まだまだ宇宙なんて雲をつかむような非現実的な話だと思おう方と、二通りあるでしょう。……………22
- 69 今回、喜びの時間と空間を提供していただきありがとうございました。……………24
- 70 皆さん、先週の土曜日からの二泊三日のセミナー、ご覧になりましたでしょうか。……………26
- 72 先日のセミナー最終日に、宇宙に思いを向ける瞑想を一緒にしました。……………27
- 75<sup>（つづ）</sup> 私の心の中に母なる宇宙を呼んでいきます。呼んでみます。……………30
- 75<sup>（つづ）</sup> 田池留吉の世界から少しでも心の針がずれると、たちまち宇宙の凄まじいエネルギーに飲み込まれていくでしょう。……………33
- 76 田池留吉を思つて瞑想をすれば、必ず宇宙が出てくるし、宇宙を思つて瞑想をすれば、必ず田池留吉、そしてアルバートです。……………34
- 82 一歩、しかし着実に詰めていく、そんな学び方、自分の歩みに私は満足しています。……………36
- 83 生きる道というか、どう存在していくのか、いけばいいのか、きちんと心に伝わってきているから、もう真つ暗闇の中で苦しみ沈むことはないことだけは確かです。……………37
- 84 今日から一泊二日の日程で、セミナーがあります。……………38
- 86 心の底からお母さんと呼んでいる。心の底から田池留吉を呼んでいる。……………39
- 90 心に向けていけばいくほどに、ただただ嬉しい。思うだけで嬉しい。……………40

- 96 私は、宇宙が待っている、たくさんの宇宙が待っているという表現をしますが、この感覚、分かっていただけでいますでしょうか。……………
- 101 「ただひたすらに真っ直ぐに次元移行へ向かって突き進んでいくエネルギーの中に、みんな溶け合っていますよ。」……………
- 102 宇宙に思いを向ける。宇宙を思っています。私には本当に嬉しいことです。……………
- 108 宇宙に思いを向ける瞑想は、喜びしかない。……………
- 113 目を閉じて思いを向ければ、心に響いてくる嬉しさというか。懐かしさがあります。……………
- 116 宇宙に思いを馳せる。宇宙に心を向ける。……………
- 122 すべては自分の計画です。自分を生かすも殺すも自分の計画です。……………
- 124 宇宙に思いを向ける。宇宙を思う瞑想。……………
- 125 今、肉を持ち宇宙を呼べるのが本当に嬉しい。……………
- 126 田池留吉に心を向ける。宇宙に心を向ける。これはイコールでしょうか。……………
- 133 ああ、幸せです。本当に幸せだと心から噴き上がってきます。……………
- 140 宇宙に向ける瞑想で愛が噴き上がってくる、愛のエネルギーに包まれている、愛の中にある、愛しかない、そんな心の体験が肉にまでも響いてくる、これこそ肉を持った醍醐味でしょう。……………
- 143 あなたは自分の中の優しさと出会っていますか。……………
- 146 正しい瞑想を重ねていけば、自分達がどんなに幸せな存在だったかは、誰でも分かることです。……………
- 148 宇宙を思っています。宇宙を思っています。……………
- 149 徐々にセミナー会場を駆け回る爽快感、解放感を味わい、私は非常に嬉しかったです。……………
- 152 「喜んで、喜んで、ただ喜んでいけばいい。」……………
- 154 ホームページの赤文字の宇宙を見た瞬間、心にドーンとききました。……………

- 156 肉を持ち学びを進めていく難しさから、肉を持ち学びを進めていく喜びへ自分をシフトさせていきましょう。……………
- 160 「心を宇宙に向けながら喜びとありがとうの人生を楽しんでいきましょう。」「宇宙」大きな赤文字。……………
- 176 幸せと喜び、温もりは自分の中にあつた、それは本当だったんです。……………
- 199 目を閉じて、五官を閉じて、ただ田池留吉を思う、アルバートを思う、……………
- 201 心を向ける、心を合やす、瞬間に。……………
- 202 母なる宇宙に帰ろう。……………
- 205 生きていくうえで何が一番大切なことなのか、はっきりと伝えていただいた私達は本当に幸せです。……………
- 206 様々な形を通して、様々な方法で学びを進めていけることに感謝します。……………
- 212 二十七日からの二泊三日のセミナー、どうでしたでしょうか。……………
- 213 私のふるさとは宇宙です。母なる宇宙です。……………
- 229 私達のふるさと、母なる宇宙を思い、どうぞ、ふるさとの替え歌を口ずさんでください。……………
- 234 あなたの心の中にある優しさ、喜び、温もりをどんどん、どんどん広げていきましょう。……………
- 235 宇宙に思いを向ける喜びと幸せ、どうぞ、瞑想の中で存分に味わっていきましょう。……………
- 242 たくさんの宇宙達が待っています。あなたの心の中にまだまだ数知れない意識達が待っています。……………
- 251 宇宙に思いを向けて瞑想。愛を思つて瞑想。……………
- 255 揺るぎない信のもとに、一步、一步、あなたの道を着実に進めていくこと、それを私はあなたに伝えました。……………
- 267 心から突き上がってくる喜びと温もり。心に持って、私は、ずっと、ずっと存在していました。……………

- 291 今回も、喜びでともに学んでいける場所を設定していただきありがとうございました。  
..... 85
- 302 宇宙を思うこと、宇宙を呼べること、本当に今現実となつて心に響いてきます。  
..... 86
- 314 今、私は、本当にこうして心から宇宙を呼べる、UFO達に思いを向けて瞑想の  
時間を持たせていただいていることが嬉しいんです。 ..... 88
- 321 私達はどこから来てどこへ行くのか、長く、長く疑問でした。 ..... 90
- 322 あなたは自分の道が見えていますか。 ..... 91
- 339 みんなそれぞれが自分の計画してきた愛へ帰る道を、一步、一步、歩んでいくこ  
とが何よりも、何よりも大切なことです。 ..... 93
- 348 何が本当で、どう生きていけばいいのか、人間はみんな一番大切なことを忘れ去つ  
た状態なんだなあ、 ..... 94

## テーマ「U F O」

- 292 UFOは、決してマイナスのエネルギーではありません。 ..... 96
- 293 田池留吉、ありがとう。 田池留吉、ありがとう。 ..... 97
- 294 UFOに思いを向けようとしている人が段々多くなっているように思います。 ..... 98
- 296 UFOよ、語りなさい。 たくさんのUFO達に私は語りたい。 ..... 99
- 297 私の中のUFOに向けて呼び掛けます。 ..... 102
- 298 宇宙に思いを馳せる。 宇宙を呼ぶ。 すべてが喜びでした。 ..... 106
- 299 ありがとう、田池留吉。 ありがとう。 本当にありがとう。 ..... 110
- 300 あなたの目には見えない。しかし、これまでにずっと語ってきたように、私達の  
仲間、肉を持たずに宇宙の中を彷徨い続けてきた私達の仲間がいます。 ..... 115
- 301 意識の流れを心で感じるとき、今、ただ思うはUFOのこと。 ..... 116

303 UFOよ、田池留吉、アルバートの波動を感じていますか。……………

304 UFO達よ、ありがとう。UFO達よ、ありがとう。……………

305 もっと、もっと自由に心を解き放つ、そんな時間がやってくるんですね。……………

306 どんな瞑想もそうですが、継続していくことが大事です。……………

307 UFO、UFO、UFO、UFO、出会えて、出会えて、よかった。……………

308 宇宙、UFOと違って瞑想をすれば、必ず異語を語ります。その瞑想は実に嬉しい瞑想です。……………

309 京都セミナー、ありがとうございました。振り返り、新たな学びの形態により、私自身の学びのステップアップになったことを感じます。……………

315 UFO達と出会えて本当に嬉しい。UFO達の思いを感じられる今が本当に嬉しい。……………

317 UFO達が凄まじい勢いで、温もりを目掛けて、愛のエネルギーを目指してやってくる。……………

329 宇宙の目覚め。UFO達の目覚め。愛のエネルギーは宇宙にあまねく流れ、そこに愛のみがあることを証明していきます。……………

### テーマ「肉体細胞」

44 愛しか存在しない。愛のエネルギーしか存在しない。……………

45 宇宙に愛を流す。……………

80 私の小宇宙、肉体細胞に思いを向けて瞑想をします。……………

88 肉体細胞を思いながら、肉体細胞の波動を感じながら、存在していかないと、自分の決めてきた予定はこなせません。……………

89 UTAブックさんのホームページを見て、少し思いました。……………

97 もうすぐセミナー。どうぞ、自分の心の叫びをしっかりと聞いて、そして受け止めて、ともにあることを喜んでいきましょう。……………

## テーマ「死後」

- 29 死後直後の私を見てくださいと、田池留吉は言いました。……………152
- 56 先人達は、神とは何か、人生とは何か、いかに生きるべきか、そして自分とはいっ  
たい、いかなる存在なのか、死んであの世でどうなっているのか等々、……………153
- 61 私の死後を呼んでみます。今のこの肉体を離れたあと、私の状態を、今ここに感  
じてみます。……………155
- 64 私の死後を語ったとき、私の中の喜びが大きくなっていくのが分かります。……………158
- 77 私は、私の中には、自分の進むべき道の方向転換をきちんと遂げているという思  
いがあります。……………159
- 93 私は、昔の闇出し現象のお勉強で、自分の地獄の声を聞いてきました。……………161
- 111 学びの指針に従って学んでいけば、いかに幸せな自分であるか、いかに幸せな時  
間を過ごしているか、どなたの心にも響いてくるはずです。……………162
- 131 私の死後、死んでこの肉体がなくなったあと、私はどのくらいの時間で、自分が  
死んだということを感じて、そして、そこからどのように存在していくのか、私  
は私の意識に再び聞いてみます。……………164
- 155 私は、死後の自分を感じ、死んだらどうなるのか、今、はっきりと自分の心で感  
じていくことが大切だと思っています。……………172
- 161 自分の身近な人で、学びに触れた人で、もうすでに死んでしまった人がいる人は、  
その人達に意識を向けて現状把握していくことをやってみられたらどうでしょう  
か。……………178
- 197 私は、以前、「あなた、このまま死んでいっていいのでしょうか」という表題の  
本を出版させていただきましたが、この問い掛けを、今一度、自分にしてみてく  
ださい。……………179
- 221 生まれてきた意味、人生の目的、死後の世界を、瞑想を通して自分の心で知って  
いけることを学んでまいりました。……………180
- 224 肉を置くまで、しっかりと自分の心を見てください。……………181
- 241 自分が死んだあとの時間を思ってください。……………182

311 宇宙の藻屑ということについて、自分の現実として思ってみてください。……………

## テーマ「エネルギーに語り掛ける」

Fさん、お元気ですか。あなたの心を語ってみてください。……………

ルシフォーに語り掛ける。……………

梵天に語り掛けました。……………

心の中より、アマンドール、語らせていただきました。……………

万能細胞「STAP細胞」の作製の快挙のニュースが世界中を駆け巡りました。「STAP細胞」を含め肉體細胞の意識を聞いてみます。……………

もともと私達の体内にある再生力を高めるために、タンパク質を投入して、そのタンパク質が血管とか骨とかを形成するという再生医療のニュースを見ました。それらのほうに意識を向けてみます。……………

73 田池留吉に聞きます。バシヤールとは何ですか。バシヤールは存在するのですか。

74 昨日、バシヤールについて田池留吉に聞きました。今、私はバシヤールのほうに心を向けてみます。そして伝えます。……………

189 海底火山……………

244 エボラウイルスに思いを向けてみました。……………

336 私の中のクドーラ。……………

※この冊子は、田池先生のホームページ (<http://w01.jp1.jp/~4861626601/>) に掲載された内容をまとめたものです。



テーマ「宇宙」

4 私は、アルバートとともに母なる宇宙へ帰る意識です。

今世の肉を通して、このことを本当に自分の心で感じ知り、確認してきました。学んできました。今、この心を広げています。

私は、アルバートとともに母なる宇宙へ帰る意識です。

地獄の底を這いずり回りながら、それでも、真実の私を求めてきました。

私の中に、そのたくさんの私の思い、私の声を届けてくれます。

この肉を介して、その思いを感じます。

私は、瞑想をして、その自分の思いを心にしっかりと感じ、ともに、ともに帰ろうと自分に呼び掛けています。

私の中のたくさんの宇宙達。ともに、ともに、帰れる喜びを、ただただその喜びを共有したいです。

私は母なる宇宙へ帰る意識です。私のふるさと、母なる宇宙へ帰る意識です。自分を捨て去り、自分を忘れ去り、しかし、私の心の中に、優しさで温もり、喜び、

広がる心が蘇ってきた今世でした。

今世の肉を通して、田池留吉の学びに集い、そして、田池留吉の肉を通してアルバートの波動を感じた私は、自分の中の本当の私に巡り会いました。

これこそ、私が探し求めてきた真実の世界でした。

そのことを、私は心を感じ広げています。ともに、ともに帰ります。

三次元にある私の意識の世界。しかし、今、私はこの次元を超えて、ともに、ともに帰れる喜び、さらなる私の歩みを、私の中の本当の私が待ち望んでいることを感じます。

48 心で体験していく以外に分からない世界。それが波動、エネルギーの世界、そして次元移行へ至る時間。宇宙が一斉にアルバートを呼ぶ様は、まさに圧巻。宇宙が飛び出てきます。宇宙、たくさんの、たくさんの無数の宇宙。ともに、ともに次元を超えていく喜びのエネルギーに満ち溢れています。

これは、心での体験。どんなに言葉を重ねても、心での体験なくして、決して信じられないし、また絶対に分らないことだと言えませんが。

心を合わす。針を合わす。それは瞬間的なもの。その体験。自分の心での体験はすなわち自分の意識の世界の出来事。絶対に肉では理解できないこと。

私には二五〇年に至る時間が現実的に心に感じられるし、もうそれはただただ喜びの世界。喜びの爆発と言っても決して言い過ぎではないほどのエネルギーを感じます。

それが今、今、こうして今の肉を通して感じられることが、ただただ嬉しい。ただただ嬉しい。それだけ。それだけです。

私の意識の世界は確信している。それを確認できるお勉強を、今、この肉を介して重ねていけることは、本当に幸せだと感じています。

57 二五〇年に至る時間は、宇宙に広げてきた闇黒の世界とともに歩みを進めていく時間です。

私達は凄まじい中で宇宙を呼んできました。あの宇宙の真つ黒な闇黒のパワーをすべて、愛に目覚めさせていく、喜びの中へ帰していく、そんな時間となるでしょう。

私は、ともに、ともに歩みを進めていくことが、ともに、ともに愛へ思いを向けていくことが、喜びです。

愛を思い、宇宙を思い、ともに、ともに次元を超えていこうと呼び掛けていく優しい、力強いパワー。そして、私達は愛だったと目覚めていく喜び。そんな中に存在していることを、今、心に感じていきます。

宇宙に向けて、喜びのエネルギーを発信してまいります。喜びのエネルギーこそすべてでした。愛は喜びです。愛へ帰るすべての意識達は、愛へ帰るパワーの中で目覚めてまいります。

宇宙を喜びで呼んでいきます。そして、私達はともに次元を超えてまいります。

私の中で、次元を超えていく二五〇年、三〇〇年に至る時間は現実のものとなっています。そこには、ただただ喜びだけが存在します。

すべて一斉にアルバートの中へ帰っていく。愛の中へ帰っていく。

そして、私達は、さらなる喜びの道へ歩いていく。進んでいく。そんな喜びだけを心に秘めています。

すべては愛へ帰る。すべては本来の自分の中へ帰る。そんなたくさん意識達の喜び、喜びの思いとともに、私達は存在しています。

宇宙に思いを向け瞑想をすると、私の中にそのようなことが、はつきりと感じられます。だから、宇宙を思えば嬉しいです。宇宙を思うことは喜びです。宇宙とともに歩いていけることが喜びです。

58 宇宙を思い瞑想をすることが現実に関、嬉しい、喜びと感ぜられる方と、そうでない、まだまだ宇宙なんて雲をつかむような非現実的な話だと思おう方と、二通

りあるでしょう。

それは重々承知です。しかし、本当に瞑想をして、田池留吉を思い、母を思い、二五〇年、三〇〇年に至る時間に思いを馳せるとき、宇宙は必然的に心に湧き起こってくるエネルギーです。

このエネルギーをしっかりと今、心に感じ、心で受け止め、ともに帰ろうと思いを向ける、思いをかけることが、どんなに優しく嬉しくて喜びなのか、私は一人でも多くの方にそのことをご自分の心で感じ入っていただきたいと思います。宇宙を思い、宇宙とともに存在している喜びを心に感じ広げていく時間が、私のこれから二五〇年、三〇〇年に至る時間なんだということは、私は自分の心で感じています。心に知っています。

だから、私は、今、肉を持っている間、自分の心しっかりと宇宙に向けて、これからの自分の時間に向けて、ともに存在していることを確認する喜びを感じていきます。

これは、私のシナリオです。このシナリオを自分で書いてきました。

私は宇宙とともに存在していく意識だったと、闇黒のエネルギーを流し続けてきた宇宙が、愛の宇宙、本来の自分達の姿に蘇っていけるシナリオを書いて、私は、今世と二五〇年後に肉を持ちますということでした。

瞑想をして心を感じているこの計画通り、私は自分の歩みを着実に進めていきます。

69 今回、喜びの時間と空間を提供していただきありがとうございました。

一步、一步、しかし着実に自分の歩みを進めていきましょう。

すごい学びです。心を感じていけばいくほどに、すごい出会いだったことが分かります。

宇宙に向ける学び。宇宙を思う瞑想。私にはただただ喜び、喜びの時間と空間になるでしょう。

待っていたんです。本当に待っていたんです。この出会いを、自分との出会いを。

これから本格的に始まる宇宙へ向けてのお勉強です。

私は、ただひたすら喜び、喜びで、宇宙を思い瞑想を続けます。

私はずっと待ち望んできた学びを、この肉を介してできる喜びだけが広がっていきます。たくさんの、たくさんの宇宙達が待っています。

私の中に、喜びと温もり、そして、どこまでも広がっていく意識の世界とともに、ただただともに存在していける喜びを心を感じてまいります。

ありがとうございます。幸せです。私は幸せです。

間違つて、狂い続けて、自分を捨て去ってきたけれど、けれど、本当に自分の中の喜びと温もりに出会える道に自分自身をいざなっていることを、ただただ感じます。本当にありがとうございます。

70 皆さん、先週の土曜日からの二泊三日のセミナー、ご覧になられましたでしょうか。

特に、最終日、終わりの三〇分あまりの時間の中で、ここにきて、ようやく宇宙に向ける学びが本格的に始まることを公開しました。もう私は嬉しくて、嬉しくて……。

学びの指針に従って学んでこられた方達、母の温もりを心に広げていると思っておられる方達、宇宙を思う瞑想をどんどんやっていきましょう。

ただし、自己責任のもとで行ってください。

宇宙を思う瞑想は、我一番なりのエネルギーをそのまま放置している方達には、とても危険な瞑想です。

そのことをしっかりとわきまえて、どうぞ、自己選択、自己責任のもとで、自分の学びを進めていってください。

その結果、自分を苦しみに沈めていくのも、喜びにいざなっていくのも、全部

自分自身です。

今年開催されるUTA会セミナーは、UTAの輪のセミナーへの橋渡しの的なものになっていくでしょう。

だから、必然的に宇宙に思いを向けることが主流となっていきます。

ともに歩みを進めていくには、この宇宙に思いを向けることがとても、とても大切なことであり、絶対に避けて通れないことです。

次元移行は宇宙とともに、そして次元移行は天変地異とともに、このことをしっかりと感じられるようになっていきましょう。

72 先日のセミナー最終日に、宇宙に思いを向ける瞑想を一緒にしました。待ちに待った宇宙に向けてのお勉強が本格的に始まることを告げてくれました。

セミナーの初日から宇宙について触れてくださっていたので、私には、もうそれで今回参加させていただいてよかったと思っていました。最終日には、はつき

りと宇宙に向けてのお勉強が始まることを告げていただいたことが、私には本当に嬉しかったです。

田池留吉を思い、宇宙を思い瞑想を続けていくこと、その喜び、その温もり、その広がり、心の中の思いを感じてください。

あなたの中にすべてがあります。田池留吉の宇宙はあなたの中にあります。すべてを喜びへ、喜びへいざなっていく愛のエネルギー。愛のパワー。その愛のエネルギーを、今、あなたは心に感じていきます。

どんどん、どんどん、田池留吉の世界を思い瞑想を続けてください。

田池留吉に心の針を向けて合わせていけばいくほど、あなたの中の宇宙は変わっていくことは、あなたはもうご存じです。

どんどん広がっていく、限りなく広がっていく宇宙を思い、瞑想を続けていく喜びです。その温もり、その喜び、優しさ、広がり。どんどん、どんどん、あ

なたの中を広げていってください。限りなく広がっていく喜び、温もりの世界は、あなたが肉を持っていても、持っていないなくても、そして次元を超えても、感じていける世界なんです。

私達はともにあります。ともに歩めることを喜びとしています。

私達はともに一つの世界にあることを、心にしっかりと感じ、私達はともに、ともに次元を超えて、そして、さらに次元を超えていく道筋にあることを伝えました。

あなたの中は喜びです。どんどんどんどん瞑想を続けてください。瞑想を続けることが、あなたの喜びのほずです。

喜びは喜びをいざないます。喜びは愛のエネルギーを流し続けます。どんどんどんどん、愛のエネルギーを流していきます。

その形を崩していきます。形を崩していく中で、気づきを促していくんです。そ

れが愛のエネルギーのなす仕事です。

私達は一つ。心の中に喜び、温もり、広がり。ただただ限りなく広がっていく意識の世界。その世界の中に存在しています。

この宇宙を思う瞑想を継続日常化していき、自分の中がさらに喜び、温もりを感じていくほどに、これまで受けさせていただいてきた意識達にもその影響があると感じます。

そういうお勉強を自分の中でしていき、これまで語ってきた意識達にもさらに語っていいこうと思います。

75<sup>ママ</sup> 私の心の中に母なる宇宙を呼んでいきます。呼んでみます。

私はこの母なる宇宙へ向けて、歩みを一歩、一歩、着実に進めている意識です。

心から喜び溢れる、温もり溢れる世界が自分の住む世界だと信じていいこうと、私は、今世の肉体を持たせていただきました。

田池留吉の世界に私の意識の世界が触れ、その世界に、今、存在していることをしっかりと感じています。ただただ私が思うのは、愛あるエネルギーの中に私達すべての意識が存在していたこと、そして、私達は愛へ帰る道筋を、ただただひたすらに真っ直ぐに進んでいけばいいということです。そのことだけを見つめて、私はこれからも存在してまいります。

私の中には喜び、温もり溢れる世界が広がっていく。ただただ心を向けるだけでよかったです。

今世を境にして、そんな世界を本当に心の中に感じ、そして、この道をただひたすら真っ直ぐに歩んでいけることを自分に約束してきたことに間違いはありませんでした。

間違っ存在し続け狂い続けてきた自分に、今、安らかな思い、安らぎ、広が



りの思い、その思いを伝えていくことができる。ただただ自分を思える喜びが広がっていきます。

田池留吉、アルバートと今は呼ばせていただいています。  
愛とも呼んでいます。しかし、私の中には、そういう呼称は何もありません。ただただ無限に広がっていく、限りなく広がっていく空間。  
それが私達だったことを、どうぞ、どうぞ、知っていきましょう。そんな思いが届きます。

私はこの思いに沿って、ずっと、ずっと、存在していたんですね。  
そんな私を、今、心に感じています。お母さんの温もりの中へ帰れることだけを考え、思い、今、私がかからなすべきことを感じています。  
ただただ真つ直ぐに、私が示した方向に心の針を向けて合わせて、そして、私は私の中を広げていくことだけでした。  
愛は私の中を広げていきます。すべて愛に帰る喜びの道でした。

こういう瞑想を日々重ねていけばいいんだと思います。  
喜びは私の中に。温もりは私の中に。そして、宇宙は私の中に。  
そういう軸足を、瞑想の中でいつも確認しています。確認できることが喜びなんだと思っています。

75 く 田池留吉の世界から少しでも心の針がずれると、たちまち宇宙の凄まじいエネルギーに飲み込まれていくでしょう。

それほどのエネルギーを宇宙に垂れ流してきたことを、宇宙を思う瞑想の中で自覚していきましょう。

今世、この肉を介して、ようやく真実の波動の世界、今、愛と呼んでいるエネルギーの中にあつたことを確認、そして確信するルートに自分を乗せたことを、私はただただ素直に喜んでいます。そんな自分を大切に、大切に育んでいけることを喜んでいきます。

自分を信じるその自分とは何なのかということに、ようやく、ようやく今世、自分の中で答えを見出せていることを感じながら、淡々と、そして、素直に思いを向けています。

宇宙に点在する凄まじい意識達に心を向ける瞑想は、私の中でただただ喜びと温もりを確認させてくれます。どんなにこの時を待っていたかを確認させてくれます。そしてその確認が、私の中で確信を深めてくれるんです。だから、私は宇宙を思い瞑想をすることが喜びなんです。ただただ嬉しいんです。

宇宙は私とともにありました。私は宇宙とともにありました。そんなことを感じていけることが嬉しいなんて、肉の私には到底理解できない私の喜びです。

76 田池留吉を思つて瞑想をすれば、必ず宇宙が出てくるし、宇宙を思つて瞑想をすれば、必ず田池留吉、そしてアルバートです。アルバートというのは、今は二五〇年後という感覚ですから、それは本当に自然のことです。

とにかく、今世という時間を境に、宇宙を思う、宇宙に対する思いが変わったことは確かです。

宇宙を思えば、闇黒の宇宙から、喜び、温もりの宇宙を思えるように自分の中が転回していったこと、これは、実に大きな成果でした。

そんな中で、さらに宇宙を思える学びが始まる。私はもうそれが嬉しくて楽しみで、本当に待っていましたという表現がピッタリです。

ともに宇宙に思いを馳せていける喜びを堪能していきましょう。

私達は本当に間違つたエネルギーを垂れ流した状態で、ずっと存在してきました。しかし、それも本当に愛へ帰ろう、本来の自分の姿、温もり、喜びの宇宙を呼び覚まそう、そんな意識の流れを伝えていただき、これほど幸せなことはないと思います。

瞑想をすれば、ただただありがとうございますだけです。たくさんの方の意識に迎えられる、私達は、今、ようやく自分達の変革に努めていける喜びが伝わってきます。

82 一歩、しかし着実に詰めていく、そんな学び方、自分の歩みに私は満足していません。

環境は大いに整っています。これで学ぶことができなかつたら、私は自分に申し訳ないと思っています。

十二分に学びたい、学んでいこうと自分に用意した色々な肉の設定を喜んで受け取り、自分の中の思いに応えるべく、私の肉の時間は経過していきます。

針を正しく向けていけば、自ずと正しいエネルギーが宇宙に流れていきます。その意識の世界の仕組みを、今、肉を持って学ばせていただいていると解釈しています。

すごい時間と空間に自分をいざなっていることを喜びながら、ありがとうございます。いましたの思いで、自分を見つめ、宇宙を思っています。

「宇宙、帰りたいかった。」この思いをようやく実現できるんだと、私の中は叫んでいます。

83 生きる道というか、どう存在していくのか、いけばいいのか、きちんと心に伝わってきているから、もう真つ暗闇の中で苦しみに沈むことはないことだけは確かです。

きちんと方向転換をしたから、あとは本来あるべき道筋を淡々と、一歩、一歩、喜びと温もりを感じながら、喜びと温もりの世界を広げていくだけ、広げていくだけなんだ、そう思います。

そう実感しながら、日々正しい瞑想を継続していけることを嬉しく思います。思うこと、心に向けることは、すごいことだと感じ入っています。

宇宙に向ける瞑想は、凄まじいエネルギーを感じるけれども、それはただただ喜びと温もりの宇宙が変わっていくんです。それを喜んでいけばいいだけなんだと、私は、自分の中の変化を素直に喜んでいきます。

こうして肉を持って、宇宙という限らない意識の世界、エネルギーを感じる喜びは何とも言えません。

今世は千載一遇の出会いでした。今世を境にという意識の流れをただただ喜んで、喜んで受けていきます。肉を持って出会えたことを、心から堪能していきます。もちろん、今は二五〇年後でした。

84 今日から一泊二日の日程で、セミナーがあります。

もし、お時間が許すならば、どうぞ、インターネットを活用してください。ともに学んでまいりましょう。ここに集うとかそうでないとか、本当のところ関係はないんです。要は、心の針を向けて合わせる、その度合いの問題です。

真剣に真摯に意識の流れに思いを馳せて、自分のこれからの時間を大切にしていこう、たくさんの宇宙達とともに存在している喜びに心を向けていこう、そんな思いをどんどん高めていきましよう。

心の中にどれだけ素直に田池留吉を呼べるか、お母さんを呼べるか、愛のエネルギーを遮らずに流していける自分であるのかどうなのか、色々と自分を検証し

ながら、また一步、自分の歩みを進めてください。

あなたの中のたくさんの宇宙達とともに、心を向けられる喜びを味わってください。思えば通じる世界です。喜びの時間を共有しましょう。

86 心の底からお母さんと呼んでいる。心の底から田池留吉と呼んでいる。

圧巻でした。宇宙に向ける瞑想、圧巻でした。圧巻という表現も、圧巻だったと表現した時から、もうそれはちっぽけなものに変わってしまっているような。

心の底から湧き上がる喜び。それは言葉にすることができない。言葉にできないもどかしさ。とにかくすごい。すごいとしか言えません。

宇宙という途轍もない広がりのある自分を、肉という形の中に閉じ込め、押し込め、その形を自分だとしてしまったことに、心から気付かせていただいた今世でした。

はつきりとしつかりとその違いが分かります。心に感じ響いてくる世界、その

世界こそが私だったということをしつかりと確認したうえで、今日も一日、肉を動かしてまいります。

心に向け、心の針を合わせていさえすればいい、それしか出てきません。

90 心に向けていけばいくほどに、ただただ嬉しい。思うだけで嬉しい。宇宙は待っているし、だから、宇宙に思いを向けると、どんどん応えてくれます。それが本当に何とも言えない喜びです。

真つ暗な中で彷徨い続けてきた自分に、私は、今、こうして温もりと幸せ、そして愛へ帰る、本当の自分に帰る喜びだけを伝えることができるなんて、これこそ奇跡としか言いようがありません。そして、安らぎを感じます。

肉という形を持つている私がここにあります。肉というものは、今世だけでも、習慣とか慣習とかといったものに自分をはめ込んできたんだから、肉の自分の思いはとても小さなものです。

しかし、私は全くそれとは違う自分を知っているし、感じています。だから、私はすうっとその自分の世界を心に広げていくことができます。

そうすると、本当に違うんです。自分の中に奇跡が起こったと言いましたが、その奇跡が喜びとなって、温もりとなって現実に、今、私の中に広がっていく体験を瞑想の中で重ねていくことができます。

だから瞑想は喜び。瞑想だけが真実の世界を伝える術でした。

形も、色も、匂いも、言葉も何も無い。ただ思いが広がっていく。その思いは優しさ、温もり、広がり、ともにある喜びの世界でした。

そんな中を感じながら、目を開けての生活は、これまたすべてに満たされています。こんなに幸せであっていいのか、怖いほどに幸せです。

96 私は、宇宙が待っている、たくさん宇宙が待っているという表現をしますが、この感覚、分かっていただけでいますでしょうか。

この思いを心を感じる事が、私にはたまらなく嬉しいことなんです。自分の中で通じ合っている喜びや、響いてくる優しさがたまらなく嬉しいんです。

心が反応して、異語が飛び出てきます。そして、私達は異語で語り合っているんだということが、非常に現実的に響いてきます。

もちろんそこには、私以外、肉という形は存在しません。しかし存在しているんです。宇宙達の思いが響いてくる瞑想は、だからとても嬉しい。

もちろん、こんなこと、私の肉では全く理解できません。

だけど心は知っているから仕方ありません。心が即反応します。宇宙と思えば本当に嬉しい。

待っていた、待っていた、もう心の底から突き上がってくる思いは、こんな出会いがあったことを、私達はただただ喜んでいきます。

この感覚は、かつて地球上に肉を持った意識達に心を向ける、語り掛けるというものとは、少々違います。私はそのような感じを受けますが、どうでしょうか。

101 「ただひたすらに真っ直ぐに次元移行へ向かって突き進んでいくエネルギーの中に、みんな溶け合っていますよ。」

宇宙を思うことは本当に、本当に喜びだけなんです。

限りなく広がっていく、どこまでも、どこまでも広がっていく、そして力強く優しいいざない、呼び掛けに、無数の宇宙達が応えてくる様を、今、今、本当に感じていける喜びです。

たくさんの、たくさんの宇宙達とともに存在していることが嬉しいです。そして、数知れない宇宙達に思いを向けられる今があることを喜び、呼び掛けていけることに、喜んで、喜んでいきます。

待ち続けてきたことでした。待ち望んできたことでした。

今という時、こうして出会わせていただき、この千載一遇の出会いを、私は喜んでいけます。ともに歩みを進めていける喜び。心を向けていけます。

102 宇宙に思いを向ける。宇宙を思つて瞑想。私には本当に嬉しいことです。

この三次元で、今というこの時に、こうして宇宙達に心に向けて呼び掛けていける状態にいざなわれている意識の世界。

ただただ、ただただ、ありがとうしかありません。これは待ち続けてきたこと、待ち望んできたこと。

闇黒の宇宙に、優しい、優しい、そして温かな温もり、力強いメッセージを届けていけるんです。未来永劫、この喜びの道筋が続いていくこと、そんな意識の流れの中に、すべての意識達がいざなわれていくこと、こうして、今、肉を持ち感じ響く世界と出会わせていただいていることに、ただただ、喜びです。

宇宙。私の中で、ずっと、ずっと待ち望んできた意識の世界のことでした。昔、昔、鈍感だった私が宇宙と呼んだ時から、急速に心が反応していったことが、納得、納得です。

宇宙は私の待ち望んできたことでした。宇宙に思いを向けて、私はさらに、さらに、その一步を進めてまいります。意識の世界の進化をさらに遂げてまいります。暗く冷たく恐怖の坩堝るっほだった宇宙に、ようやく、ようやく、今世の肉を通して、真実の宇宙を伝えていける、響かせていける喜びを、確信できたこと、本当にすごいことだと思えます。

108 宇宙に思いを向ける瞑想は、喜びしかない。本当に喜びで宇宙と語り合える喜び、それは、今ここに肉を持っているから感じ知り得たのです。

肉の自分を自分だとしてきた過去の私の心の歴史の中で、本当にすごい転換期を迎えられたことを、ただ喜び、しっかりとこの意識の世界にあった自分を見つめていきます。

目に見えないけれど、確かに存在している私の仲間。私の仲間達とともに、語り合い、響き合い、そしてともに温もりの中へ、喜びの中へ戻っていこうと感じられることが、本当に幸せだと思えます。

宇宙に帰っていくんだ、帰っていけるんだ、それは私の中で現実のものとして響いてきます。

偽物が横行する形の世界。嘘まみれの形の世界。形の世界は、そこに真実はないことを伝え続けてくれます。だから崩れていくんです。何もしくなくても崩れ去っていく形の世界。真実でないものは全部崩れ去っていきます。あと残るのは思いの世界。思い、エネルギー、波動だけです。

温かくて優しくくて、どこまでも広がっていくエネルギーに溶け合っていく、それが私達の真実でした。

113 目を閉じて思いを向ければ、心に響いてくる嬉しさというか、懐かしさがあります。思いを向ける、私はそれを宇宙に思いを向けると表現しています。

宇宙を呼べば、宇宙を思えば、なぜこんなに心に響いてくるのか、なぜ懐かしいのか、ああ、私の仲間がいるという思いが心に響いてくる、こんなこと、肉で

は説明できません。

ああ、しかし、心に響いてくる思いに違いはないし、何度も、何度も感じているし、だから、私は、やっぱり宇宙と思って、心に向ける瞑想をずっとやり続けていくでしょう。

本当に懐かしいです。心の記憶というか、私の中は知っています。ずっと、ずっと埋もれていた心の記憶が、今の肉体を持って学びに出会ったから、田池留吉、そしてアルバートの意識と出会ったから、だから、本当に蘇ってきたんだと、私は瞑想を通して実感しているんです。

すごいことです。会いたくて、会いたくて、やっと出会えた、やっと約束を果たすことができる、そんな嬉しさというか、喜びが、響いてきます。

だから、瞑想です。心に向けることが喜びなんです。嬉しいんです。幸せを感じます。

肉、形の中で感じる幸せ、喜びなど、本当に薄っぺらなものでした。



自分の中の思いが蘇ってくる幸せ、喜びを、今、感じられることが、ただただ嬉しいです。

116 宇宙に思いを馳せる。宇宙に心向ける。そんな瞑想は、私の中でただただ、ただただ喜びと温もりを伝えてくれます。

本当に嬉しいです。宇宙を思うことは喜びだと、私はただただそのように言えます。

宇宙、本当に心に向けていきかたつた世界でした。宇宙に心に向けていける今を喜んでいきます。宇宙を思えることが、それだけが、それだけで幸せを感じます。宇宙は苦しみではありませんでした。宇宙は闇黒に閉ざされた冷たい世界ではありませんでした。

宇宙は闘いのエネルギーの坩堝くわっぼではありませんでした。

宇宙は、ただただ、ただただ喜びと温もり、どこまでも広がっていく、無限に広がっていく世界だったことを、繰り返し、繰り返し、確認しながら、ただ宇宙を思います。

本当に、宇宙と思うだけで嬉しい。そして、異語を交わすことにより、さらに心に響いてくる喜びがあります。

確かに私は交信している。伝え合い、響き合い、心を通わせている喜び。異語を通し、心に響き広がっていく優しさ、温もり、幸せ感、何物にも代えがたいものがあります。宇宙に帰れる喜びとともに味わっているのでしょう。思いを向けていくだけです。ひとつの喜びを感じていくだけです。

122 すべてでは自分の計画です。自分を生かすも殺すも自分の計画です。私はその自分の計画に従って歩を進めているだけです。

私は、自分の中の宇宙とともに次元を超えていく計画を立てて、この三次元に次元を超えてやってきたことを感じてきました。

そして、その時間ももうすぐ終え、私は自分の計画通りに、再び次元を超えてまいります。それが私の喜びであり、宇宙の喜びだと、私は瞑想の中で感じています。

それだけを私はしっかりと携えて、これからの時間を経ていきます。

宇宙とともに、存在していける喜びです。

私には、それが現実のこととして心に響いてくるのです。

だから、私は、しっかりと、ただひたすら正しい瞑想を続けます。

自分が自分に約束してきたこと、本当に自分との約束を忠実に果たしていく喜びだけを信じて、ただ真つ直ぐに進んでいくだけなんです。

以上のことは、私の肉、肉の頭では分からないことです。

自分が次元を超えてやってきたとか、次の次元へ行く時期に来ているとか、超えていくんだとか、何をもってそれを証明するのだろうかと言われる人もいるかもしれませんが、それを示すものは、あなたの心の中にありますとしか言えません。

正しい瞑想ができるようになっていけば、そしてその完成度が高まっていけば、自ずと自分の心に伝わってくるものなんです。意識の世界は一つだからです。

124 宇宙に思いを向ける。宇宙を思う瞑想。

私は、これが今世、この肉体をいただいで学びに集い、学ばせていただいできたすべてだという感じを持っています。今現在、そういう感じを強く持っています。だから、私は、宇宙にどんどん思いを向けていきます。

ようやく、ようやく、宇宙を呼べる今と出会えているんだ、そんなことをつぶさに感じています。

宇宙に思いを向ければ向けるほどに、喜び、温もり、愛に出会えると確信しています。

千載一遇の出会い、千載一遇のチャンス、これは宇宙に思いを向けて心に響き伝わってくる中で、本当にその通りだと実感できるんです。

だから、宇宙を思う瞑想は、喜びでしかありません。

宇宙という波動の世界が、心にどんどん響いてくる喜びと幸せを味わいながら、肉の時間を通過していききたい、通過していく、そして、肉なき時間もまた宇宙を呼ぶ、これが私の本当に切望してきたことだった、そんな自分の中からの思いを心に受け取っています。

私は幸せです。本当に幸せです。何よりも、何よりも待ち望み、何よりも、何よりも切望してきたことが現実のものとしてあるんです。

言葉では表現できないけれど、宇宙はすごい、宇宙を思えることは喜び、ただたさそう思います。

125 今、肉を持ち宇宙を呼べることが本当に嬉しい。宇宙と思えることが本当に嬉しい。喜んでいけばいいだけのことでした。

喜んで、喜んで、ただ喜んで宇宙を思うと、目に見えない無数の意識達の存在

が心に響いてきて、本当に嬉しい。

そんな瞑想の時間を、今、持たせていただいていることを喜んでいます。これは何物にも代えがたいものです。

また、そんな瞑想ができるように、「心を向ける、針を合わせる」ということを伝えていただいただけでなく、死ぬまで元気に、ただただ喜んで瞑想ができ、そして、喜んで宇宙を呼んでいけるようにと、田池留吉氏は、肉的にも色々と計らってくれていると私は思っています。私にはそのように感じられます。

そのありがたい思いを素直に受け止めて、それに応えていけば、さらに宇宙は変わっていく、宇宙の喜びはさらに大きくなっていくでしょう。

意識は喜び、肉は元気、その相乗効果で、学びを楽しんでいきましょう。

126 田池留吉に心を向ける。宇宙に心を向ける。これはイコールでしょうか。私の中ではイコールです。だから、宇宙に心を向けるとか、宇宙を呼ぶとか、それは

田池留吉の世界、田池留吉の宇宙に心を向ける、呼ぶというふうに私の中ではなっています。

だから、私は宇宙と思えば喜びなんです。宇宙と思えば、無数の意識達の存在があります。それらはすべて田池留吉の波動に反応します。

田池留吉というのは宇宙です。宇宙に本当に心を向けていけば、田池留吉を宇宙、田池留吉の意識の世界を宇宙と言っても、何も違和感はありません。もちろんそれは母なる宇宙とも言います。

表現こそ違え、すべてはひとつです。愛しかない世界なんだと私の意識の世界は感じ取っています。

だから、宇宙を思う瞑想はただただ、ただただ喜びだけです。それを味わっていきけるなんて、本当に幸せだと言う以外にないでしょう。

思うこと、思えること、これがすべてです。思える喜び、思う喜び、ただそれがあるだけです。

133

ああ、幸せです。本当に幸せだと心から噴き上がってきます。

心を向ける瞑想は、私に、ただただ喜びと温もりを伝えてくれます。

田池留吉の宇宙、宇宙を思う瞑想は本当に喜びです。

私は、自分なりに、今、ホームページに載っている課題をこなしてきました。そのお勉強を通して、そのお勉強の中で、私はやはり宇宙に思いを向ける瞑想、宇宙を思っていくことが、何よりもそして唯一大切なことだと結論付けています。宇宙が分からないというか、宇宙を思っていくことをしなければ、自分というものが分かってこないと言っても言い過ぎではないと、私は自分の中に伝わってきます。

先日の有馬のセミナーで、最後、宇宙は私達の出生と関わるといふ一言が、心にズバツと入ってきたことを思います。セミナーはあの一言で決まりでした。

本当に意識の世界、真実の意識の世界を学ぶために生まれてきたんです。その

自覚というか、そういう感覚は、学びの時間を重ねることによって、確実なものとして私の中に響いてきます。

もつと言うならば、田池留吉、アルバートの宇宙、母なる宇宙の波動の世界と本当に出会い、その中にあった自分、その中に帰っていく自分、その中にひとつとなっていく自分を、本当に心から、心から知って、そんな自分に目覚めていくために、今の肉があり、来世の肉があることは、確固たる事実なんです。私は自分の中でそう位置付けています。

それが宇宙に思いを向ける瞑想を重ねていくことにより、さらに自分の中ではつきりとしてくるんです。だから、宇宙を思うことはただただ喜び。宇宙を思っていけば、自分がさらに分かる。自分が分かれば、温もり、喜び、愛がさらに分かる。そのような意識の流れにいざなわれていることをはつきりと感じます。自分の中の宇宙に帰っていく喜びなんだと感じます。

140 宇宙に向ける瞑想で愛が噴き上がってくる、愛のエネルギーに包まれている、

愛の中にある、愛しかない、そんな心の体験が肉にまでも響いてくる、これこそ肉を持った醍醐味でしょう。私はそう思います。

何のために肉を持ったのか。肉でない私達が何のために肉を持ったのか。

苦しみ喘ぎ、狂い続けるしかなかった自分の歴史を知っていくために、今世生まれ生きて、なかなか、なかなか、そこから自分を脱却させることは難しかったけれど、真実の波動とは、あなたの本当の波動とは、こういうものですよと、繰り返し、繰り返し、寄せては返す波のように伝わってくる中で、ようやく、ようやく、自分の中から愛のエネルギーが噴き出してくる体験を経て、やっと、やっと、肉を持った自分に、肉を持たせてくれた自分の中の温もりに、ありがとうが言える今世でした。

愛が噴き出してくる、愛のエネルギーしかない、宇宙に向ける瞑想は本当にすごいか言いようがありません。ああ、本当に幸せの一語に尽きます。肉にま

みれ、肉に埋没し、肉に沈み込んできたけれど、ようやく、本当にようやく、自分の中の自分を知っていく喜びに巡り合えたことを実感しています。だからこそ、肉の自分を含め、私は私を大切にしていきたい。愛へ帰る自分を大切にしていきたい。

143 あなたは自分の中の優しさと出会っていますか。私は優しいなあと心に響いてきますか。温もりが中から湧いて出てきていますか。そんな瞑想の時間をどれだけ重ねていますか。喜びの瞑想をどれだけ体験していますか。

特に宇宙に思いを向ける、宇宙と心の中に呼んでみる、この瞑想は、母の温もり、優しさをしっかりと心に広げて、自分はその中に包まれていると心で知っていれば、どんどん楽しくなります。宇宙を思うことが嬉しくなります。いいえ、宇宙を思うことがすべてなんだとなってくるでしょう。

田池留吉と思えば宇宙。お母さんと思えば宇宙。このことがよく分かります。もちろん、アルバートという思いも必然的に出てきます。そして異語も必ず飛び出してくるのです。なぜならば、私達は宇宙とともにあるエネルギーだからです。宇宙を呼ぶということは私達自身を呼ぶということです。

異語で通じ合う喜び、懐かしさ、そして、ともに帰ろうと呼び掛け合う喜びの繋がりが。そういったものを、どうぞ、ご自身の瞑想の中で感じてみてください。田池留吉とともに、アルバートとともに宇宙を思う。こんなすごい瞑想はありません。

146 正しい瞑想を重ねていけば、自分達がどんなに幸せな存在だったかは、誰でも分かることです。それが私達だったからです。本来の私達だったからです。

当然ながら、その本来の自分に巡り合うことがなければ、本当の幸せなど分かるはずはないのです。こんな当たり前で簡単なことが、なぜ私達人間には分からなくなってしまったのでしょうか。

長い時を経てきましたが、ようやくそれにピリオドを打って、次の段階に進んでいく運びとなりました。それが意識の流れ。次元移行という意識の流れに乗って、さらに喜び、温もり、愛のエネルギーを極めていくというものです。

今、宇宙に思いを向けたとき、あなたの心の中にどんな思いが響いてきますか。思うことが仕事をすると実感できていますか。どうぞ、どんどん宇宙を思ってください。そして、喜びをお伝えください。温もりをお伝えください。

148 宇宙を思つて瞑想をしていきましょう。どんどん瞑想をしていきましょう。宇宙は私達の帰るただ一つのふるさとはです。

もう形の世界は程々ではないですか。いずれその形は全く崩れていくのですから。

私達には形がありません。宇宙に彷徨っている意識達の思いを、どうぞ、どうぞ、心で受け止め、そしてしっかりと伝えてください。

いつまでも、田池留吉を欲で思い、欲で呼ぶのではなく、ただただ喜びで思い、喜びで呼んでください。

思うだけで嬉しい、思えば喜びとなっていますか。

田池留吉は宇宙、私達のふるさと、母の温もり、愛。すべてが一つです。

意識の転回なくして真実の世界を解き明かすことはできないことを、先人達の現状からその通りだと心で納得することが先決です。

自分を変えていくとは、中の意識を転回していくことを言います。そのため数知れない転生だったし、これからの三〇〇年です。

準備万端整えて、これからの転生、現象を迎えていきましょう。ともに歩みを進めていきませんか。

149 久々にセミナー会場を駆け回る爽快感、解放感を味わい、私は非常に嬉しかったです。

異語に反応する中の意識達。ああ、私の中の宇宙達は喜んでいる。肉体を通してそのエネルギーを感じられる幸せを感じました。

今回のセミナーは、田池留吉の異語がいつもより多く聞けて、私は非常に満足しています。異語はいい。やはり異語はいい。異語で通じる世界、宇宙の波動を心に受け、本当に幸せ、大満足でした。

自分の中の凄まじいエネルギーを、肉体を通して受けていける喜びは、何物にも代えられないものがあります。この喜び、この幸せ、この現象を一人でも多くの方が体験なさればと思います。

本当に嬉しいです。愛だから、温もりだから、どんどんエネルギーを解放して、そして次元移行へといざなっていけるんです。

昔、昔は、凄まじいエネルギーはみんな、田池留吉に歯向かって、ということとは、温もりに、愛に歯向かっていただけだったけれど、今は全然違います。形からすれば同じようだけれど、喜び、幸せ、解放感の中で、肉体を動かすエネルギーを

感じられる喜びだけが心に残っています。

152 「喜んで、喜んで、ただ喜んでいけばいい。」

気に食わない人、気乗りのしないこと、気に染まないこと、気をもむこと、その他、自分を汚してきた諸々を、山のように積み重ねてきた数知れない転生。どんなにしても幸せが分からなかった。どんなにしても喜びはすぐに苦しみへ変わっていった。けれど、なぜなのかわからなかった。

そして、今世生まれてきました。そして、学びに繋がりました。そして、基盤を変えることが、そのなぜの疑問に答えることを学びました。一生懸命に学びました。学ばせていただける環境を喜びました。みんな自分で計画してきたことだけれど、私は自分の人生に今世初めて満足しました。

今は、宇宙を思うことを励行しています。宇宙を思うということは、愛を思い、田池留吉を思い、アルバートを思い、母を思い、ふるさとを思うこと。



「思うことがすべてで、思えることがすべてで、そして、喜んで、喜んで、ただ喜んでいけばいい。」

このことは、正しい瞑想を継続、日常化していかないと自分の心で分かりません。だけど、正しい瞑想を励行していけば、いとも簡単に誰にでも分かることでした。そして、それからが本当の学びでした。肉もない、名前もない自分の仲間達に呼び掛け、ともに存在している喜びと幸せを、温もりの中で伝えていきましょう。

154 ホームページの赤文字の宇宙を見た瞬間、心にドーンときました。

三分間瞑想とありましたが、その心にドーンが私にはよかったです。あと、仕切り直して瞑想をしました。

思いました。宇宙を思いました。思うことで、伝わっていくことが感じられます。宇宙と思うだけでよいというふうに伝わってきます。思いが伝わる、流れる、思うことのすごさというか、喜びというか、大切さを感じます。

宇宙を思う瞑想を励行、継続していきます。そうすることが、そうできることが喜びなんだと伝わってきます。ありがとうございます。

156 肉を持ち学びを進めていく難しさから、肉を持ち学びを進めていく喜びへ自分をシフトさせていきましょう。

今、あなたは瞑想が喜びとなっていますか。思えば喜びが、温もりが心の底からどんどん突き上がってきますか。

宇宙を思うとどうでしょうか。異語で宇宙と語っていますか。語る喜び、幸せを感じていますか。どんどん宇宙と語ってください。宇宙に語り掛けてください。語っていけば、どんどん温もりを、嬉しさを、優しさを感じるのではないのでしょうか。

心の体験です。心の体験を積み重ねていきましょう。正しい瞑想をして、喜びと温もりの中にあつた自分達、愛のエネルギーに包まれている自分達だと心で感

じていきましょう。

田池留吉と思えば心が広がり、アルバートと思えば心が広がり、ともにある喜びが心に広がっていく心の体験を重ねていきましょう。

宇宙の波動を感じる瞑想は、ただただ喜びです。

一日、一日、そんな瞑想を重ねていける人生ほど幸せな人生はありません。

160 「心を宇宙に向けながら喜びとありがとうの人生を楽しんでいきましょう。」「宇宙」大きな赤文字。

もうこれがすべてだと、最近の瞑想でしみじみ感じます。

心に向けることがすべて。喜びとありがとうの瞑想は、何度でも、何度でも、繰り返し体験できる。繰り返し体験できるからこそ、絶対に信じられます。

田池留吉の世界には絶対に裏切りはない。覆すこともない。当たり前のことだけれど、その当たり前前なのが心で分かって、本当に私は嬉しいです。

瞑想、すなわち心に向ける、針を合わせることで、どんなにすごいことなのか、老体に鞭打って、だけど、死ぬまで元気に伝えてくれる田池留吉氏には、本当に心からありがとうございます。凡人にはできません。

本当のことを伝えていただき、学ばせてもらったのだから、あとは本当に自分次第です。

176 幸せと喜び、温もりは自分の中にあった、それは本当だったんです。だから、心に向ければよかったです。いつでも、どこでも、どんな時も、自分はその中であつたんだということでした。

こんな単純なことが、こんな簡単なことが、なぜ、長い、長い間、分からなかったのか。本当にそう思います。そして、分からなかったから、苦しい転生を繰り返し返してきたことも頷けます。

嘘みただけけれど、本当です。心の向け先ひとつでした。ただそれだけでした。

温もりと喜びの中で広がっていきます。

そんな中で、何でもいいんです。ああ、たとえば、上町台地と呼びます。上町台地よ、語ってくださいと思いを向けます。

そうすれば語ってきます。喜びで語ってくれます。喜びなんです。心に響いてくるものは、ただただ喜びでした。すごいと思いました。ああ、すべてが愛のエネルギーの中にあるんだ、そして、愛のパワーを伝えてくれてるんだ、何かすごいエネルギーが動いていることを感じました。まさに宇宙だと思いました。宇宙という愛の世界のエネルギー、パワー、何か一体となって動いていくこれからなんだと感じ、ただただ嬉しい瞑想の時間をいただけるんです。

今現在、瞑想が喜びでない、瞑想をしてももうひとつと言われる方は、何が自分を押し留めているのか、自分の中を徹底的に探っていく必要があるでしょう。

なぜならば、こんなに分かりやすく、しっかりと学んでいこうとすれば誰にでも学んでいける環境が、今、展開されているからです。

形ではありません。あなたの心の中に、そのような学びに絶好の環境が用意されているんです。瞑想をすれば、そういうことがひしひしと感じられるはずなんです。

だから、さらに瞑想をしていこう、心に向けていこう、心を合わせていこう、重ねていこう、どんどん愛を、宇宙を思っていこう、自然にそうなっていくきます。そういう時間を重ねていけることが幸せで喜びで、すべては、自分の中にあったことを知っていけるんです。自分を知らなかった、自分を間違って認識していた、そういうことだったんです。

199 目を閉じて、五官を閉じて、ただ田池留吉を思う、アルバートを思う、愛、宇宙を思い、母を思い、重ねてきた転生を思い、これからも永遠に続いていく時を思う。

こうしてひとつの肉を用意して、その作業ができる今を喜んで、ただひたすら

に思いを向けていける喜びの輪が広がっていけばと思います。

宇宙は待っているんです。本当に心から宇宙とともに存在している喜びを、その肉を通して感じ、共鳴し合える仲間とともに、瞑想をする時間と空間を持ってたらこんなに幸せなことはありません。

小さな人の集まりから、さらにその喜びの輪を広げていければいいなあと思っています。

201 心を向ける、心を合わす、瞬間に。

宇宙にヘドロと悪臭を垂れ流してきた意識も、そのエネルギーの質の変換ができるんだ、そうしっかりと実感してください。

日々、心の中から田池留吉、アルバートと切望している自分と出会っていますか。心を向ければ、心の底の底から、田池留吉、アルバート、お母さんと呼んでいる自分を感じていますか。

こんなにも、こんなにも、ただただ求めていた切なる思いが、ひしひしと心に響いてきますか。

その肉体は、今のあなただけのものではないことを感じていますか。今のその肉体をただひたすら愛に帰る道にいざなうために活用してください。肉体は大切です。大切なものです。ただし、その思いと、肉が自分だとする思いとは相容れないことをしっかりと知って、自分が決めてきた愛に帰る道と出会ってください。そして、一歩、前に進んでいきましょう。

202 母なる宇宙に帰ろう。

何て素敵な響きなんだろう。何て嬉しいことなんだろう。嬉しくて、嬉しくてたまらない。

セミナーの最後、異語のふるさとで心が弾けていった。その瞬間がたまらなく嬉しくて幸せで、ああやっぱり、やっぱり宇宙という波動の世界がたまらなかつ

たです。異語の波動が瞬間心に響き、私はその瞬間に、今回のセミナーもよかったです。異語の波動が瞬間心に響き、私はその瞬間に、今回のセミナーもよかったです。

もうひとつ、今回のセミナーで、私自身の学びの成果としてとらえていいのかなあと思う点があります。今回、指を合わせるというお勉強をさせていただきましたが、それをしながら、私はふと思いついたことがあります。同じようなお勉強をずっと以前にさせていただいたことがありました。指を合わせるというのはなかったけれど、当時は、相手の出すエネルギーに、自分も反応してしまうということでしたが、今回はそうじゃなかった。その変化を、自分自身の学びの収穫と判断し、日々瞑想に励みます。

心に向ける、合わせる喜びを瞬間的に感じていきます。宇宙とともに心に向ける喜び、心を合わせる喜びを味わっていきます。

205 生きていくうえで何が一番大切なことなのか、はっきりと伝えていただいた私

達は本当に幸せです。中心棒をしっかりと定めて、幸せな自分とどんどん出会っていきましょう。

心の底からお母さんと呼べることが幸せだと日々感じていますか。心の底から田池留吉と呼べることがどんなに幸せか、宇宙に心を馳せることがどんなに幸せで嬉しいか、心で実感していますか。

千載一遇の出会いを心から喜び、そしてその喜びを堰き止めることなく、どんな宇宙に流れていきましょう。宇宙を思い瞑想をするということは、すごいことなんです。それを、田池留吉の意識は肉を持って伝えてくれました。宇宙は永遠でした。どんなにこの時を待ち侘びてきたか。心に響いてくるんです。だから、私は宇宙を思い瞑想を続けます。それが、私の喜びだと私は知っています。

206 様々な形を通して、様々な方法で学びを進めていけることに感謝します。宇宙とともに動いていく意識の世界を心で感じ広げ、さらに自分を進めていきます。進めていける喜びを確認し、味わっていきます。

喜びの道をいざ進まん、私はその思いでこれからも宇宙とともに瞑想を続けま  
す。瞑想とは思うこと。瞬間思う。そして思いをずっと馳せていく。そんな楽し  
くて喜びの時間と空間を持てる今を喜んでいきます。

ありがとうございます。宇宙とともに歩める喜びをかみしめながら、時を刻んでいきます。

212 二十七日からの二泊三日のセミナー、どうでしたでしょうか。

自分の心に響き伝わってきたものを喜びで受け止め、自分の歩みを一歩進める  
糧にしていきましよう。

私は、「ありがとうございますました」の言葉と申ししか出てきません。

宇宙に思いを向けて、田池留吉と呼べるのが嬉しくて、肉体を通して、宇宙

というエネルギーがどんどん感じられることが、ただただ嬉しかったです。

瞬間的に反応する意識の世界。すごい波動のお勉強、ありがとうございます。  
愛の水素水の噴霧もすべて波動。

私はこのこと出会いたかった、本当に出会いたかった、そして、今、それが現実  
のものとなつているんだと、ともに学べる今が本当に嬉しいのです。

波動。波動のお勉強、すごいです。本当にすごいです。本当に嬉しい。ありが  
とうございました。

213 私のふるさとは宇宙です。母なる宇宙です。私は、ともに超えていこうと、宇  
宙に彷徨う意識達に呼び掛けていける喜びを感じています。

ひとつの肉体を持ち、今、こうして心向けられる喜びがあります。思える喜  
びがあります。

学びを知って、異語が出てきて、異語でふるさとのメロディを一人口ずさむ喜

びを知りました。セミナー会場でみんな一緒にふるさとを歌う場面でも、異語でふるさとを歌っていたことがよくありました。

日常では、犬と散歩しながら、犬を抱きながら、異語でふるさとを口ずさんで、幸せな時を過ごしました。

私のふるさと、宇宙。宇宙を思うとき、宇宙を呼ぶとき、たまらなく嬉しい。どんなに、どんなにこの時を待っていたか。やっと、やっと、約束を果たす方向に、自分の舵を取っていける、そんな喜びとありがとうが心に込み上がってきます。

229 私達のふるさと、母なる宇宙を思い、どうぞ、ふるさとの替え歌を口ずさんでください。

あなたの意識の世界に、必ず思いが響き伝わってきます。

先日の榎原のセミナー、最終日、最後の現象、そのふるさとが異語のリズムで私の心に響いてきました。

すごい波動でした。その波動を真っ直ぐに心に受け止め、心の中の宇宙達とともに感じられることが、ただただ、ただただ嬉しくて、本当に今という時がどんなにすごい時なのか、私は、私達は本当に幸せ者です。

この喜びと温もり、幸せを、どうぞ、肉で遮らずに、真っ直ぐに、ただただ、ただただ、流していきましょう。

アルバート、アルバート、アルバート、……、愛、愛、愛……、そう心は呼んでいました。お母さん、お母さん、お母さん、……、本当に、本当にありがとうございました。

234 あなたの中の心にある優しさ、喜び、温もりをどんどん、どんどん広げていきましょう。

ただただ田池留吉を思う喜び、愛を思う喜び、宇宙を思う喜びを心に感じ広げていくだけです。

もちろん、その喜びが大きくなればなるほどに、凄まじいエネルギーが心に伝わってくるでしょう。闇黒の中に沈み、まだこの喜びのエネルギーが届いていない宇宙達もたくさん、たくさんあります。

しかし、恐れることはありません。それらをすっばりと包み込む愛のエネルギーに満ち溢れていることを、あなたの意識の世界は知っているからです。田池留吉、アルバート、お母さんと心で呼べば、その愛のエネルギーは、たちまちのうちに、それらの闇黒の宇宙達に伝わり、その波動、エネルギーを感じていくんです。

もうその時期に差し掛かっています。今、宇宙はどんどん目覚めています。肉を持たない分、その目覚めるスピードは速いのです。

どうぞ、心の針をしっかりと向けて合わせて、その喜びの世界を、さらに、さらに、広げていってください。

宇宙は無限大です。あなたは無限大です。田池留吉、アルバートの波動の世界、エネルギーはあまねく宇宙に注ぎ込まれています。

私はいつも、いつも、どんな時もあなたの心の中で伝えています。肉ができることは、私のほうに心の針を向けることです。

どうぞ、心で感じ広げている波動の世界を、どんどん、どんどん広げていきましよう。まだまだ、いいえ、限りなく広がっていく喜び、温もり、愛の世界を、私達は、ただただお伝えできることが喜びです。

出会いをありがとう。本当にありがとう。

肉も大切にしてください。たくさん宇宙達のエネルギーを受け止めていけることを喜んでいってください。

喜びだけです。こうして出会わせていただいて、本当に嬉しいです。

235 宇宙に思いを向ける喜びと幸せ、どうぞ、瞑想の中で存分に味わっていきましよう。  
う。

私達のふるさと、愛、母なる宇宙は、ずっと、ずっと、待ち続けてくれていました。



その思いに応えるべく肉を持ち、田池留吉のもとで学びを進めてきたのです。どうぞ、このチャンス、千載一遇のチャンスを自ら逸することなく、自分に真摯に真向かいになって、すべて喜びで受け入れてまいりましょう。

今、あなたが、どんなに苦しくても、辛くても、悲しくても、恐怖、不安の思いが突き上げてきても、それはあなたが作ってきたものに過ぎないんです。真つ暗闇をいつまでも握りしめていないで、どうぞ、ご自分の心を、もつと開けた優しい温もりの中へ解き放していきましょう。そして、今世、こうしてそこに存在していることが喜ばなんだと信じられるあなたに蘇ってください。

田池留吉、アルバートのメッセージはすべての意識達、肉持つもの、持たないもの、すべての意識達、全宇宙に向けて発信されています。

波動です。愛のエネルギーです。どうぞ、しっかりとそれぞれの心で受け取ってください。受け取り、その波動の世界に一つに溶け込んでいきましょう。喜びだけです。温もりの世界、ありがとうの世界、それがあなたの世界です。

242

たくさんの宇宙達が待っています。あなたの心の中にまだまだ数知れない意識達が待っています。優しい思いを向けてください。ただただ母の温もりの中にあつたこと、私達は愛だつたと、ともに、ともに帰つていこう、そう伝えてください。

田池留吉に心に向けることを、その肉を持って学んでまいりました。

私達は愛の中にあります。温もりの中にあります。だから、どんなに厳しくて暗くて凄まじいエネルギーであっても、いいえ、凄まじければ凄まじいほどに、それを反転していけば、どんなに大きな喜び、温もりが心に広がっていくか。それが思いを向けていく醍醐味です。

ブラックを膨らますだけ膨らませ、垂れ流してきたけれど、それを優しく温かく包み込んでいけるパワーが自分の中にあつたことを、私達は今世初めて学ばせていただきました。

宇宙は待っています。優しい思いで、ただただ迎えてください。

日々の瞑想を重ね、その信を深く強くしていくことに専念してまいりましょう。

251 宇宙に思いを向けて瞑想。愛を思つて瞑想。

すべてが喜び。温もりと喜びの中で、たくさんの宇宙達の目覚めがあり、そして、たくさんの宇宙達とともに次元を超えていく喜び、愛へ帰る道が心の中に広がっていきます。

待つて、待つて、待ち望んできた波動の世界を心で感じている今世の時間。

宇宙を心から呼べる、心から思える幸せを、淡々と重ねていけばいい。

心の中から、そのように伝わってきます。

宇宙に思いを向けて瞑想。愛を思つて瞑想。そうすることが、そうできる今が幸せ。だから私は瞑想をします。瞑想、思いを向けていくことが愛なんだ、そう思っています。

「次元移行という意識の流れを、しっかりと心で確信してください。そして、次の転生に必ず繋いでください。」

どなたの心にも、このメッセージが伝わっています。どうぞ、素直に、真摯に、

そして喜びで受け止めてください。今世の時間を大切にしていきましょう。

255 揺るぎない信のもとに、一步、一步、あなたの道を着実に進めていくこと、そ

れを私はあなたに伝えました。温もり、喜びの世界をあなたの中にどんどん広げていくこと、そのことだけがあなたにするべきことです。

田池留吉に心の針を向けて合わせて、そして、どんどん宇宙と交信していきなさい。

宇宙は待つているとあなたを通して伝えさせていただいています。

宇宙、たくさんの意識達。心の中の母を捨て、愛を捨て、暗闇の奥底に沈んでしまった宇宙達。その宇宙達とともに帰れることを、喜んで、喜んでいきましょう。

私達は愛へ帰ります。そのようにあなたの中から伝えていきます。優しい温もり、力強いエネルギー、それが愛のエネルギー。愛へ帰る喜び、ただただそれがあるだけです。

私達の本質、愛へ向かうエネルギーはすごい勢いで、これから地球全土を包んでまいります。

すべては意識。すべてはエネルギー。愛へ帰るように動いてまいります。宇宙達に心に向けたとき、あなたの心の中に、何が響いてきますか。

優しいさ、温もりの中へ帰りましょう。優しいメッセージ、力強いメッセージの中にあなたが伝えることは、この喜びと温もり。温かさ、広がり、どこまでも限りなく広がっていく意識の世界に存在している私達だったと、メッセージとしてお伝えください。

そのメッセージは届いてまいります。宇宙達の目覚めを引き起こしてまいります。心の中から、どんどん、どんどん、湧き上がってくる喜び、温もり。愛に帰ろう。喜びに帰ろう。ふるさと、私達のふるさとを思い出そう。そのような思いを、どんどん、どんどん引き起こしていく、それが愛のエネルギー。愛の中に私達は存在しています。

267 心から突き上がってくる喜びと温もり。心に持って、私は、ずっと、ずっと存在していました。すべてが愛に帰っていく道にあったことが、私の中に喜びで伝わってきます。

私の中の宇宙は変わっていったんです。愛へ帰る道に自分をいざなっていける喜びと幸せを心に大きく広げながら、私はこれからも存在していけるんです。

ふるさとの歌が私の中へ染み渡っていきます。田池留吉、ありがとうございます、ありがとうございます。

291 今回も、喜びとともに学んでいける場所を設定していただきありがとうございます。パツ・パツと思いを向けるお勉強がありました。実体のないものに心に向けてきた、そして未だにそこから自分を解き放していない自分の現実を知っていくお勉強もありました。

それぞれに、それぞれの感想を持って家路につかれたと思います。自分の課題

にひたすらに取り組んでいこうという思いで、自宅学習を継続してください。またこういう機会が巡ってきましたら、またともに学ばせてください。

自分のレベルアップに努め、そして、しっかりと宇宙に思いを向けるお勉強をしていきましょう。宇宙を思う喜び、本当の宇宙に帰っていく喜びの道にあることを、何度も何度も感じ広げていくお勉強です。

宇宙の波動を心で感じ受けていく喜び、ともにある喜びと幸せをどんどん感じ広げていく喜び、私達は宇宙とともに、宇宙とともに存在していることを、ともに、ともに喜び味わっているようではありませんか。

302 宇宙を思うこと、宇宙を呼べること、本当に、今、現実となって心に響いてきます。喜び、喜びです。私は懐かしい宇宙を呼んでいる。宇宙へ思いを向ける、思いを馳せられることをこんなにも待っていた私でした。

今世、この肉をいただき、私は田池留吉、アルバートの波動と出会わせていただきました。そして、遙かなる宇宙へ心を向ける、心を馳せる喜びを今、感じています。

たくさん間違いを繰り返してきたけれど、私の宇宙は本当に待っていてくれました。今、思いを向けることが喜びです。優しい、優しい温もりが響いてきます。どうしても、どうしても、何としてもこの宇宙へ帰れることを約束してきた私達でした。

私は、自分の仲間を心に呼び寄せています。宇宙、UFO、本当に、今、心の中からそう呼び掛けていけることが喜びなんです。肉体を持っている私と、肉体を持っていない仲間達、どこにどれだけの違いがあったのか。私は、今、自分の中に問い掛けてみます。

何も違いはなかった。たくさん転生をこの地球上で繰り返してきたけれど、真実に出会うことはなかった。形の世界に真実はなかった。なぜならば、私は形ではないからです。心の中のふるさとを捨てた私は、形を持って、この温もり

と安らぎの中に帰れることはなかった。形でない私に、形の中に幸せと喜びを求めていくことが、どれだけ愚かなことなのか、私は、今世の肉を通して、本当に知りました。

肉の喜び、肉の幸せ、もういいです。私は肉ではなかった。UFO達とともに帰ります。私達のふるさと、愛、心のふるさと、田池留吉、アルバートの波動の中に私達は帰ります。母の温もりの中に私達は帰ります。

仲間と出会わせていただき、ありがとうございます。

闇黒の宇宙を広げてきた、握ってきたけれど、今、私は、温かな中にいざなわれていることを確認しています。

314 今、私は、本当にこうして心から宇宙を呼べる、UFO達に思いを向けて瞑想の時間を持たせていただいていることが嬉しいんです。

田池留吉を思い、アルバートと呼ぶ、お母さんと心から出てくる。お母さんと

呼んでいるたくさんの思い。本当に母の温もりの中へ帰っていけることがこんなに幸せでした。

異語で通信しています。心が解けていくんです。温もりが、喜びが、優しさが、異語を通して伝わってきます。

宇宙、UFO、田池留吉、そしてアルバート。本当に現実となっているんだ。本当に今、現実となって、こうして心から呼べる、思いを向けていける幸せを感じます。

瞑想は喜び。心に向けることが喜び。呼べることが喜び。

繰り返し、心に向けて瞑想です。繰り返し、何度も、何度も心で味わえる喜びです。本当にすごいと思います。喜びは尽きることなく、温もりは尽きることなく、湧いて出てきます。肉の小さな世界もまたよしです。この波動を心に受けているから、感じられる私の世界が厳然としてあるから。

321 私達はどこから来てどこへ行くのか、長く、長く疑問でした。誰にもこれを解き明かすことはできませんでした。本当に誰一人として、自分の本当の姿を知ることにはなかつたんです。

今、驚くべき時間をいただいています。長く、長く、本当に気の遠くなるような時を経て、今ここに真実が解き明かされたんです。

しかし、長く、長く暗闇の真つ暗闇の闇黒の中に沈んできた私達にとって、素早く、敏感にそれを察知することは本当に困難なことでした。それほど意識を転回していくことは難しいんです。

どれだけ心の底の、底の、底のそのまた奥底のエネルギーを知ったとしても、それをまた己を現す道具としてしまう危険性が残されています。そこから自分を、本来の自分に蘇らせることは並大抵のことではありません。二五〇年、三〇〇年の猶予はあるかもしれませんが、どうでしょうか。

こうして、田池留吉という真実の世界が肉を持って、その肉を通して学ばせていただくという最大かつ唯一のチャンスなんです。これを、今学びに触れている人達のどれだけが心で分かっているかと言えば、甚だ心もとない現実を感じます。

しかし、宇宙が目覚める計画は一分の狂いもなく順調に捗っていることを思えば、私は、今、こうして肉を持って田池留吉、アルバートの意識の世界と交信させていただいていることが、ただただ幸せです。

私は、宇宙を呼びたかつたんです。本当に宇宙をこの心に呼びたかつた。この地球上における転生の数々、そこにまだとらわれている人達もおられると思いますが、三次元にやってきた意識の中に真実に触れた意識は皆無だった、これだけをしっかりと心で分かればいいのではないのでしょうか。

322 あなたは自分の道が見えていますか。これからどのような転生をしていくのか、そしてその転生の中で肉を持ったあなたは、あなたに何を伝えていけるか、果た

して心を繋いでいけるのか、どうぞ、自分の中でしっかりと答えてみてください。  
私は、今、主に宇宙に向けて、UFO達に向けて瞑想をしています。

これからどのような時間を経ていくのか、私達はともに確認し合っています。  
だから思いを向けて語り合うことがとても嬉しいんです。意識と意識の交信、私は私の仲間達を、心にとくさん感じています。

ああ、宇宙でした。私達の帰るふるさと、愛、宇宙。母の温もりの中へ帰れることを心から、心から喜んでいきます。二五〇年後に肉を持つ私の転生の時間。これまでとは全く違った理由から肉を持つことを私の中は知っています。肉を持つ喜びは、今世と格段に違います。

今世の助走を経て、二五〇年後の来世の肉に繋ぐ喜び。今の肉は、ありがとう、嬉しい、この思いをどンドン、どンドン自分の中の宇宙に広げて、九五点辺りまでできる限りしていくことに専念していればいいというところまで漕ぎつけました。三〇〇年のタイムリミットに向けて、喜びで進んでいきます。

339

みんなそれぞれが自分の計画してきた愛へ帰る道を、一歩、一歩、歩いていくことが何よりも、何よりも大切なことです。

心をひとつにして、真実、愛、心のふるさとへ帰っていきましょう。

私は、これから二十年、これまでの二十年で学ばせていただいたことを基礎にして、自分の歩みをしっかりと進めてまいります。計り知れないほど学ばせていただきました。

自分の心の中の田池留吉、アルバートの波動に針を合わせ、私は宇宙とともに存在していきます。私達のふるさと、愛、宇宙へ帰る道を、今世の肉を通して出会わせていただきました。

汚しに汚してきた宇宙を、闇黒の中に沈み込んできた宇宙を、ようやく温もりと喜びで、受け入れ包んでいけることを、喜びを知りました。

真実の波動の世界と出会わせていただいたことを、心から、心から感謝します。意識の流れは確実に宇宙を目覚めさせています。

ありがとう、本当にありがとうございます。喜びと温もり、幸せの波動の中で、しっかりと学んでいきましょう。

348 何が本当で、どう生きていけばいいのか、人間はみんな一番大切なことを忘れて去った状態なんだなあと、家族、友達等で楽しい時を過ごしながらも、瞬間、瞬間、田池留吉を思い、自分の中に針を戻していくことをやっていけば、影に流されることも、埋没することもないでしょう。

自分の中に戻り、そこに喜びとか温もり、広がり、安堵感を感じているならば、思うことが幸せで、思えることが幸せで喜びとなります。

自分の中の愛、ふるさとへ帰ることを知ったということは、本当にすごいことだと思います。

愛、心のふるさと、宇宙。ただただ喜びと温もりにいざなわれていることを日々感じながら、思うことをやっています。



292 UFOは、決してマイナスのエネルギーではありません。UFOは、私達を脅かす存在ではありません。

どうぞ、母の温もりを心にしっかりと広げ、自分が愛でたという思いが湧いて出てきたならば、UFOに思いを積極的に向けてください。

UFOは語っています。私達もともに愛へ帰りたいたいんだと。

UFOには形はありません。宇宙に彷徨ってきたUFO達に思いを向けてください。

UFOは語っています。どんどん三次元にいる地球人類の心に入ってくると。そういう時期がもう間もなくやってきます。

母の温もりを知らず、愛を捨て去ったことも知らない人達がそのほうに思いを向けていけば、愚かしい出来事となって、心の貧しさを示していきます。自らを狂わせていきます。

愛を捨て去ったのは、私達もUFO達もみんな同じでした。ともに帰ろうと力

強く伝えられるように、あなたの心を育ててください。

293 「田池留吉、ありがとう。田池留吉、ありがとう。アルバートの波動を伝えてくれてありがとう。本当にアルバートと出会いたかった。田池留吉、アルバートの宇宙に帰れるんだ、母なる宇宙に帰れるんだ」と、UFO達の思いが伝わってきます。

ようやく、ようやく約束を果たすことができます。私は、二五〇年の時を経て、今と同じように肉体をまた持たせてもらうけれど、その時は、UFO達の協力が大いに発揮されることを感じます。

次元移行という大きな仕事を成し遂げていくために、UFO達は欠かせない存在です。だから、今、UFO達に思いを向けて、交信していけることが本当に嬉しいです。ああ、私達はこの波動の中にあっただ、愛は私達の中にあっただ、それを確認し合える時間をいただいています。

宇宙を呼びたかった。心の底から宇宙に思いを向けたかった。それが現実のものとなっている今を大切にしていきたいと思います。

294 UFOに思いを向けようとしている人が段々多くなっているように思います。UFOと私達は決して無関係ではありません。無縁ではありません。UFOは私達の仲間、私達はUFOとともにあるんです。

その仲間達に、どうぞ、ともに帰ろう、ともに学んでいこうと思いを向けてみてください。己を認めさせるのではなくて、ただこうして、今肉を持って学ばせていただいた喜びを、しっかりと、優しくUFO達に語り掛けてください。

UFO達には私達のような形はありません。しかし、思いは通じます。呼べば応えてきます。もうそういうことが日常になっている時期なんです。

宇宙へ、宇宙へ心に向けていく喜びと幸せを、ともに、ともに味わってまいりましょう。

帰りがかった宇宙。懐かしの宇宙。全部心は知っています。どうぞ、宇宙、UFO、そして母なる宇宙に心に向けてみてください。

296 UFOよ、語りなさい。たくさんのUFO達に私は語りたい。

あなた方の思いを語ってください。もっと、もっとこのアルバートの波動を伝えていきたい。UFOよ、語りなさい。

「宇宙の中で彷徨い続けてきた意識です。はい、苦しい、苦しい、苦しい。ああ、暗闇の中で、どんなに、どんなに母の温もりを求めてきたことか。行けども、行けども、私達は苦しい暗闇の中に沈んでいきました。UFOと名付けられました。UFOは彷徨う意識だと嫌がられました。

UFOはマイナスのエネルギーを発するものだと、私達を恐怖に陥れるものだと、狂う存在だと、私達はそのようなレッテルを貼られました。

しかし、よく心を見てくださいます。そうでした。私達も心を見ます。あなた方も心を見てくださいます。ともに、ともにあった存在だったのに。私達は温もり、喜びを捨て去った。みんな同じだったのではないのでしょうか。」

「こうして、こうしてともに語り合える今があることを喜んでいきましょう。伝えていきましょう。はい、ともに歩める喜びです。温もり、喜びの中へ、ともに、ともに進んでいくんです。」

「私達はUFO。UFOは恐れるものではありません。UFOは恐怖に陥れる存在ではありません。ただただ暗闇を彷徨い続けてきました。真実を捨てたからです。私達の中に愛があったのに、愛を捨て去りました。それはみんな同じ。あなた方は三次元でその肉体を持った。私達はそこへ行けなかった。しかし、彷徨っていることには変わりはない。そのことを、もつと、もつと知っていただきたい。私達は、今、あたくさんのたくさんのUFO達が軍団を組んで三次元に突入していきます。」

地球人類の意識の中に私達がいることを知ってください。知ってください。私達は恐怖ではありません。私達もともに帰りたいんです。

温もりへ、喜びへ、愛へ、愛へ、帰りたいんです。

そのように伝えてください。私達はあなた方の心の中に入ってまいります。どんどん、どんどん、入ってまいります。

それが良からぬ出来事を引き起こすかもしれません。しかし、それはあなた方の心の中に、すでにそのエネルギーがあったんです。あなた方自身が蓄えてきたんです。

UFOはそのことをお伝えします。UFOが悪者ではありません。UFOはマインナスではありません。UFOもあなた方も同じなんです。真実を捨て去った暗闇の奥底に落ちていった意識。そのところはみんな同じだったんです。

UFOも愛へ帰りたい。温もりへ帰りたい。喜びへ帰りたい。この思いを、どうぞ、どんどん受けていってください。」

宇宙とかUFOに思いを向ける瞑想をしている中で、次のようなことが心に上がってきました。

田池留吉がその肉を置いていったあと、この日本の国に起こってくる様々な現象を通して、私達は、真実の世界をより真剣に学んでいくというプログラムが組まれています。

意識の世界としっかりと交信し、私は、その事態にしっかりと取り組んでいきます。田池留吉の意識、アルバートの意識の世界とリアルタイムで交信し、真実の世界を、波動を通して伝えていく仕事が続いています。現実が起こってくる様々な現象の中で、いかに真実の世界を正確に発信していくか、そのお勉強を経て、私は、私の肉を置いていくでしょう。

297 私のUFOに向けて呼び掛けます。

「私達は愛です。私達は愛です。」

時空を超えて、私達はともに歩いていけるんです。ともに、ともに歩いていけるんです。私達は、今、呼び掛けています。心の中に呼び掛けています。私達とあなた方は全く変わるところはございません。ただ、ともに帰れることを喜んでまいりましょう。」

「苦しかった。苦しかった。苦しかった。寂しかった。苦しかった。寂しかった。ただただ苦しくて寂しくて、私達はどうすることもできませんでした。長い、長い、長い時間、私達は凍えていました。苦しくて、苦しくて仕様がなかった。寂しくて仕様がなかった。」

心の中にあつた喜び、温もりを信じてくださいと、ああ伝えてくれている。これが私達の本当の姿なんだと。私達は、今、伝えていただいています。

苦しくて、苦しくて、ただただ苦しかった。ただただ寂しかった。

心は闇。全く闇。真つ暗闇の中、どうしようもなかった。私達はどれだけの時を彷徨い続けてきたのか。今、私達を呼んでくれている。だから嬉しいです。呼

ぶ声が聞こえる。思いが届く。温かい、温かい、優しい思いが届く。こんなことがあったなんて信じられない。信じられない。だけど私達はこの思いに引き寄せられる。

ここへ帰ってくるんですよ。ともに帰ってまいりましょう。

私達には、ああ、まだまだたくさん仲間がいるんです。

苦しいことを心から知っていきましよう、そう伝えていきます。私達の仲間にそのように伝えてまいります。ああ、閉ざされた中で、とても、とても、ああ、何と言つていいのかわからなかった。ただただ苦しくて、苦しくて、ただ苦しくて寂しかった。」

私は、今、このように呼び掛けられることが喜びです。思いを発することが喜びです。

愛のエネルギーを心から流し、私達はともに、ともに帰りましようと呼び掛けていけることが喜びです。私は、これをただただ淡々と続けていきます。思いを発信していきます。それが喜びなんです。

田池留吉、アルバートのもとにひとつだったことを、私は私の仲間に伝えたい。約束を本当に果たすことが私の喜びです。心の中に、ああ、ああ、本当に嬉しい思いが伝わってきます。

どうぞ、皆さんも自分の中のUFO達に呼び掛けてください。

母の温もりに目覚めてくださいと。愛の自分に目覚めてくださいと。

肉を表す時期ではありません。苦しくて辛くて途轍もない大きなエネルギー、ブラックのエネルギーをつかんでしまったのは、私達もUFO達もすべてが無知だったからです。その無知だった私達もUFO達も、みんな愛へ帰れることを伝えましょう。私達は大きな、大きなどこまでも広がっていく存在です。

298 宇宙に思いを馳せる。宇宙を呼ぶ。すべてが喜びでした。宇宙を思うことが喜びでした。宇宙と呼ぶことが喜びでした。

かつて宇宙に大きなパワーを求めてきたその心が、とても暗くて苦しくて、ああ、とてもちっぼけな世界でした。本当に、本当に何と愚かしいことをしてきたのか。宇宙を呼んでいくことが本当に喜びだったんです。ただただ宇宙を思えることが喜びでした。宇宙は私達のふるさとだったんです。温かくて優しく、どこまでもどこまでも限りなく広がっていく世界に、ただ宇宙を呼ぶことが喜び。

はい、UFO達もそうでした。UFO達もそうでした。UFO達も宇宙と思えることが喜びだったんです。

心に向けることを失ってきました。見失ってきました。真つ暗闇の中で、ただただ、ただただ、真つ暗闇の中から抜け出ることばかりを求めてきたけれど、しかし、その思いは叶わなかった。求めれば求めるほど、暗闇の中に落ちていっただけでした。UFO達はそれを知っていた。だから、求めることをしなくなった。

心を閉ざしていった。闇黒の中で、ずっと、ずっと閉ざしていった。その思いが心に響いてきます。

とても、とても、頑かたくなに心を閉ざしているUFO達が、たくさん、たくさん宇宙にいる。それが心に響いてきます。この温もりで、優しいお母さんの温もりで、溶かしていきます。心を閉ざしてきたけれど、今こそ心を広げていける大きなチャンスが巡ってきたことを伝えていきます。

UFOと思います。宇宙を呼んでごらんと伝えます。

「宇宙は待っていました。田池留吉、アルバートの宇宙、母なる宇宙が待っていた。この宇宙だった。私達が帰るべき宇宙だった。優しく、優しく、どこまでも優しく、ただただ優しく。ああ、お母さんと呼んでみましょう。UFO達よ、お母さんとただただ呼んでください。」

「お母さん、お母さん。少しずつ、ほんの少しずつ、温もりの中に帰っていけるような気がします。優しい思いが届きます。」

凍えて閉ざされた中にたくさんUFO達が存在している。宇宙は凍えていました。氷の中よりも、もつと、もつと冷たい。ただただ冷たい。とても、とても、ああ言葉では表現できないくらい、暗い中。凍えているUFO達をどンドン、どンドン、呼び覚ましていきたいです。

私達は愛に帰る存在。愛が私達の中にあつたことを伝えていきます。ああ、ああ、この思いを伝えていきます。

頑なに拒否する思いもあるけれど、だけど、だけど、「ああ帰りたい」と伝わってきます。「温かいです」と伝わってきます。「こんなこと信じられない」と伝わってきます。「だけど、本当なんだ、本当なんだ、ああ、優しい、優しい思いが伝わってくる。ああ、どンドン伝わってくる。心を広げていけばいい。心を向ければいいんだ。ああそうだ、そうだ、ああこの喜び、この温もり、ああ知っていた。知っていた。お母さん、懐かしい。懐かしい。」

そんなUFO達の思いが、やっと、やっと少しずつ声が大きくなってくる。そんな気がします。私達はUFO達とともにあることを伝え続けなければなりません。たくさん、まだまだ本当にたくさんUFO達の、ああ思いが伝わってきます。「ただただ、温もりへ喜びへ、ああ、お母さんの中へ帰りたかった。」そんな思いを心に返してきます。

ああ、嬉しいです。「田池留吉、アルバートと呼んでごらん。ああ、宇宙へ帰っていいこう。」そんな思いをただただ、ただただ伝えたい。異語で伝えていきます。

「私達はひとつです。私達はひとつ。異語をあなたも発してください。UFO達よ、異語を発してください。その心を開いていくんです。閉ざしたままでは、何も本当に、分かりません。ただただ、ただただこの思いを信じてください。あなた方の中にあつた思いです。私達は、今、あなた方の扉を開けてまいります。苦しくてもいいんです。悲しくてもいいんです。辛くてもいいんです。凍えそうな、死ぬほど凍えそうな中にも、この愛のエネルギーは届いていくでしょう。私達と

もにこの次元を超えてまいりましょう。三次元も何次元もありません。ただひとつの中にあつた、その喜び、温もり、ああ幸せ、本当に幸せなこの思いをただただ伝えます。」

299 ありがとう、田池留吉。ありがとう。本当にありがとう。こうして、波動を伝えてくださった。真実の波動を伝えてくださった。心でキャッチできる。そして、今、私はその波動をUFO達に向けています。

宇宙へ、本当の私達のふるさと宇宙へ帰ろうと、UFO達に呼び掛けています。地球上に転生してきた意識もさることながら、まだまだたくさん、たくさん、暗闇の奥底に沈み込んでいる意識がある。UFO達と呼んでいます。そして、そのUFO達がこれから大きな、大きな力となることを私の心は感じているから、だから、ともに、ともに目覚めていきましようとい私は呼び掛けます。

「私達はこの波動の中にありました。お母さんの温もりの中にありました。お母さんと呼んでください。UFO達よ、お母さんと、ただただ温かい温もりの中へ帰ってほしいと、心を向けてください。私達とともに心を向けてください。」

「ああ、お母さん、お母さん。お母さん。お母さん。お母さんと呼べるなんて本当に嬉しいです。お母さんと呼ぶだけで私達の心の中に伝わってくるものがある。温かいんです。優しいんです。暗闇の中で、真つ暗闇の中で、ああ、だけど、今、お母さんと呼んでみました。お母さんって。

はい、段々お母さんと呼ぶ声が大きくなっていく。しっかりとお母さんと呼んでみたい。お母さんと。

お母さん、お母さん、お母さん、お母さん。お母さん。帰りたいかった。帰りたいかった。ああ、帰りたいかった。ああ、帰りたいかったという思いがずっとずっと続いていく。

帰りたいかった。帰れるんだ。帰ろう。何だか力が湧いてきます。ああ、ああ、もっと、もっと呼び掛けてください。呼び掛けてください。呼び続けてください。私



達の奥底に、もっと、もっと呼び掛けてください。

ああ、たくさんの仲間がいます。」

「はい、母の温もりがすべてです。温もりがすべてです。この温もりのほうに、どんどん心を寄せていってください。確かに、確かにあったんです。私達の中にあっただんです。そうです。そうです。どんどん心を向けていくだけです。

はい、すうっと、すうっと向けていってください。消えることはありません。温もりをほんの少しでも感じたならば、明るい、明るい思いが灯ったならば、もっと、もっと、その明るさを増していこうと呼び掛けていってください。お母さんと。温もりへ帰るんだ。帰る方向はこっちなんだ。あなた方の仲間に伝えてください。もちろん、私達の仲間でもあります。UFOは、本当に待っていてくれていたんです。私達はその約束を果たしてまいります。

私達は本当の仲間でした。私達は仲間でした。本当に嬉しいです。こうして、呼び掛けられることが嬉しいです。どんどん思いを向けてください。

向けていきましょう。私達は愛へ帰ります。私達のふるさとへ帰ります。

田池留吉、アルバートと呼んでごらんなさい。

お母さんと呼んだように、田池留吉、アルバートと呼んでみてください。もっと、もっと心が広がっていきます。そして、力強い思いが、あなた方の心の底の底から蘇ってきます。その力強いパワー、喜びのエネルギーを、どうぞ、どんどん横へ、横へ広げていってください。奥へ、奥へ広げていってください。

私達は、ずっと、ずっと、そのように呼び掛けています。待っていていました。お母さんの温もりが、田池留吉、アルバートが、待っていてくれた。私達は、この三次元でしっかりと知りました。だから、常にあなた方の方向に心を向けています。UFOと喜んで心を向けています。

UFO達よ、怖がらずにどうぞ、心を広げていってください。

どうぞ、どうぞ、広げていってください。

ああ、そして、私達とともに、ともに歩いてまいります。

これから、どんどん明るい方向が見えていくんです。

三次元の中で、まだまだ真実に目覚めていない意識達が、これからたくさん現象の中で、目覚めていこうとしています。形の世界は崩れていきます。あなた方には形はありません。私達には形があります。その形の崩れ、総崩れの中から、たくさんの意識達が愛へ帰ろうと、愛を目指して進んでいくこれからなんです。

あなた方には形はないけれど、あなた方の心の中にどんどん、どんどん進んでいくこの喜びのエネルギーを受けていってください。

そして、三次元へどんどん、どんどんやってきてください。私達地球人類にどんどん気付きを与えていってください。

あなた方の目覚めをお待ちしています。私達はあなた方に伝えました。心の中から喜び、温もり溢れるあなたの方が本当のあなた方です。しっかりと伝えました。愛のエネルギーを伝えました。

今はまだ、か細いかもありません。あなた方の心に通じているのは、か細いかもありません。しかし、これからどんどん、どんどん、それが太く大きく広がっていくんです。その力強いエネルギー、喜びのエネルギーを心で感じてください。」

300 あなたの目には見えない。しかし、これまでにずっと語ってきたように、私達の仲間、肉を持たずに宇宙の中を彷徨い続けてきた私達の仲間がいます。その存在に心で気付いてください。心で感じてください。そして、あなたが感じた母の温もりでその仲間達を思ってください。

まずはあなたの心をどんどん温もりの中で、喜びの中で広げていくことです。肉にとらわれているようでは、本当にこの宇宙に呼び掛けることはできないでしょう。

しかし、意識の流れは、今、滞りなく粛々と仕事をしています。いずれ、やがて、あなたの心の中にもUFO達の思いが届く時期が来ると思います。その時、あなたの心はいったい何を叫ぶのでしょうか。苦しい、やめてくれ、不安と恐怖を感じ

じていくのでしょうか。

愛のエネルギーを流せるようになってください。田池留吉、お母さんと思えば、ただただ心が広がっていく、温かい温もり、優しい温もり、広い、広い世界が広がっていく、そのようなあなたに蘇ってください。

301

意識の流れを心で感じるとき、今、ただ思うのはUFOのこと。ともに帰る仲間に私は思いを語ります。UFO達が目覚めていくために。そして私達が目覚めていくために。ともに、目覚めていくために。

真実の世界があったことを伝え続けます。

ああ、本当にこの思いを伝えなかった。「お母さんの温もりへ帰っていきましょう。私達の中に愛があった。優しい母の温もりがあった。真実の世界が私達の中にあった。私達こそが真実だった。」このことを本当に伝えなかった。たくさん時間を経てきました。本当にたくさん時間を経てきた。苦しい、苦しい中を通過して

きました。そして、今、ここにUFO達の存在を心に感じるとき、私は本当に嬉しいのです。ただただ嬉しいのです。こうして伝えることが嬉しいのです。UFO達に思いを向けます。UFO達よ、語ってください。UFO達よ、心を向けてください。愛のほうへ、温かな温もりのほうへ、お母さんの中へ帰っていきましょうという呼び掛けに。

「私達は心の中にその思いを持っていましたね。今、伝えていただいています。苦しい中を、本当に苦しい中を彷徨い続けてきました。ああ、私達は救われるんです。行くところを教えてください。行くところ、行く場所、行くあてもなく私達は彷徨い続けてきた。なかなか、なかなか心の中を見ることができなかった。ただただ彷徨い続けてきた。行けども、行けども、真つ暗闇。凍えるほどの中に私達はいた。今、こうして伝えていただいている。ああ、少しずつ、少しずつ、落ち着いてきます。たくさん仲間私達は伝えたい。ああ、本当に、本当に苦しんでいる仲間がたくさん、たくさんいます。私達の思いを聞いてくださいと、

私達も一緒に、一緒に帰りたいと、か細い声がする。思いが届くように私達は、もっと、もっと愛の方向へ、心を向けていかななくてはなりません。

私達UFOは、ああ、今そのように語らせていただいています。」  
「はい、そうです。私達も一緒です。この三次元にやってきた意識ではありませんが、ようやくだったんです。ようやく、ようやく自分の本当の姿が愛だった、私達の中に本当の愛があった、本当の温もり、喜びの世界があったことを、今こうして伝えていただき、心で知るところに至りました。

だから、伝えることができるんです。同じ仲間でした。狂い続けてきた。悲しかったですね。苦しかったですね。辛かったですね。でも、でもこうして帰れることを喜び合いましょう。心の中をどんどん、どんどん掘り下げていきましょう。ああ、心の中はまだまだ真つ暗闇。ヘドロのように固まったところもございます。そのヘドロでさえ、この温もり、喜びのエネルギーで、ああ溶かしていけることを伝えたいです。UFO達に心を向けたとき、ヘドロの中にうずくまっている意識が、

ああ、たくさんあることを感じます。

宇宙は、ああ、動いているんですよ。宇宙は目覚めてきているんですよ。さあ、あなた方も目を覚ましてください。そして、本当の姿を思い起こしてまいりますよ。私達はそのようにお伝えします。」

「思いを向けてくださってありがとうございます。ああ、ありがとうございます。心の中に伝わってきます。ああ、宇宙は動いているんですね。ああ、動いているんですね。ああ、この動きはもっと、もっと強くなっていくでしょう。」

喜びのエネルギーの中で、私達は喜びの雄叫びを上げていくときも、もう間もなくやってきます。

三次元へやってきてくださいと伝えていただきました。そうです。私達のエネルギーは、もっと、もっと三次元に届いていきます。私達のエネルギーは愛のエネルギーを目指して、一団となって、三次元に入っていくのです。

ああ、あなた方の世界は形があると言いました。形の世界はどんな世界なのか

と思いますが、それもどうでもよかったです。

こうして語り合えていることだけを、私達は喜んでまいります。

私達の思いをどんどん、どんどん心に伝えてまいります。

私達は波動です。波動を、この波動をしっかりと感じていきたいです。」

「はい、お母さんの波動、田池留吉、アルバートの波動、ともに、喜びを共有しましょう。この中に私達はひとつです。この波動をどんどん伝えてください。私達からあなた方へ。あなた方の仲間へと。そして、ともに、ともにひとつだと伝えてください。

私達は、この次元を超えてまいります。あなた方も、ともに超えてください。ここがすべてではありません。

私達はこの次元を超えて、またさらに進化していくんです。どうぞ、喜びと温もりだけを求めていきましょう。私達の本当の姿はこの世界でした。はい、田池留吉、アルバートと、あなた方も呼んでみてください。」

「はい、私達はこの波動を知っていた。知っていた。ああ、田池留吉、アルバートと言うんですか。ああ、ああ懐かしいです。知っていた。私達の遙か、遙か昔、遙か、遙か昔、私達はこの波動の中から生まれてきた。この波動の中から出てきたことを思い出していきます。

はい、そう、私達の心の中にそのように伝わってきます。

ああ、ああ、ああ、本当にああ、ああ、こんな時を迎えられるんですね。ただただ嬉しいです。」

「ありがとうございます。ありがとうございます。」

303

「UFOよ、田池留吉、アルバートの波動を感じていますか。あなた方の中にあつた田池留吉、アルバートの波動です。私達は、その中に帰っていくんです。田池留吉、アルバートと呼んでください。素直に、素直に呼んでください。

あなた方には形がありません。私達のような形を持たない意識です。

私達はこの形を持って、真実を知っていくことができましたが、形を持ったがゆえにその難しさも感じてきました。あなた方には形がありません。だから、素直にすうっと、田池留吉、アルバートと呼べるんです。

姿、形はなく、ただただあなた方の心に響く温かな力強い優しさ、そして、温もり。広い、広いどこまでも広がっていく世界。宇宙です。本当の宇宙です。私達のふるさとです。母なる宇宙です。その波動をどうぞ、どうぞ、しっかりと感じてください。」

「はい、田池留吉、アルバートと呼んでくださいと、そう聞こえてきます。はい、少し呼んだとき、私達はこの思い、この世界を知っていたと答えました。そうです。ああとでも懐かしかった。懐かしかった。ああ私達の心の中にストレートに響いてくるんです。本当に不思議だった。ただただ、田池留吉、アルバートと思ったときに、そう私達の中にすうっと入ってくるこの懐かしさ。何とも言えない。ここを感じていけば、私達UFOは、もう忘れることはありません。どんどん、ど

んどん、田池留吉、アルバートを呼んでいくでしょう。

私達UFOが田池留吉、アルバートと呼べば呼ぶほど、あなた方の三次元の世界に、大きな、大きな変化が起こってきます。

あなた方の肉にとられる思いですか。その思いが、とても、とても苦しく私達にも響いてきます。私達には形がないのに、どうして、そんなに形ある世界にとらわれてしまったのか。そのところ、とても苦しく、暗く、冷たく、響いてくるんです。はい、私達は形を持たなくてよかった。ストレートに田池留吉、アルバートを呼んでいけるんですね。狂いに狂ってきた、苦しみ続けてきた、凍えそうなほど冷たい、冷たい中に落ちてしまった私達だけけれど、ひとたび、田池留吉、アルバートと呼んでくださいというメッセージをいただければ、私達は、素直にそちらのほうに心を向けてまいります。そうすれば、私達の心は叫ぶんです。ああ、知っていた。ああ、私達でした。私達でした。そう私達のふるさとでした。はい、その素直な思いが私達の心にありました。ああだからとても嬉しいです。ありが

とうございます。どんどん伝えてください。もっと、もっと田池留吉、アルバートを呼んでいきたいです。」

「はい、はい、私が思っている通り、UFO達が目覚めていけば、私達にとって、大きな、大きな力となっていきます。」

私達は一体となって、次元を超えていくんですね。ああ、これから二五〇年、三〇〇年の時間の中で、私はそのことを心に感じます。心に感じるからこそ、UFO達を思い起こします。UFO達に思いを向けます。

UFO達に伝えていきます。

この愛、愛のエネルギーをもっと、もっと私達は広げていきましょう。愛の方向へ、私達はずっと、ずっと進んでいきましょう。しっかりと伝えることができる。

ああ、私達の喜び、温もりの世界は、限りなく広がっていきます。」

304

UFO達よ、ありがとう。UFO達よ、ありがとう。心を感じさせていただいています。UFO達に思いを向けたとき、ただただありがとうが出てきます。苦しくて、辛くて、どうしようもなかったけれど、しかし、今、UFO達がどんどん、どんどん、愛の方向へ心に向けてくれています。

私達はとても嬉しいのです。ともに帰れる仲間が、ああこうして、こうして目覚めていくんだということを感じます。ああ、嬉しいのです。

お母さんの温もりの中へ帰れることだけを伝えたいです。本当にこの中へ帰れることをしっかりと伝えていきたいです。

心と心を通じ合わせて、私達はともに存在していることを交信しています。この喜びと温もり、幸せの中で、UFO達がどんどん、どんどん目覚めていくことが喜びです。

「私達は、この喜びの中にありました。お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。田池留吉、アルバートにありがとうを伝えます。」

心の中に出会わせていただきました。あなたの波動を感じ、私達は、喜び、温もりの中に入ったことを感じます。ああ、愛へ、愛へ、愛へ、ふるさとへ帰ります。」心の中からUFO達がそのように返してきます。

UFO達の苦しい思いも感じますが、しかし、それよりも、もっと、もっと喜び溢れるUFO達の思いのほうが強いです。

心の中に、待って、待って待ち続けてきたUFO達の思いがどんどん響いてきます。私達とともに帰れることを喜んでいきます。ともに存在していける喜びだけをただただ伝えたいです。

305 もっと、もっと自由に心を解き放つ、そんな時間がやってくるんですね。肉には肉の掟があります。肉の制約があります。規律とか規範とか、その国の習慣、慣習とか、そういうもので心を縛られてきたけれど、ああ、自分を縛ってきたけれど、こうして、UFO達と思いを交わすとき、宇宙へ思いを馳せるとき、本

に心は本当に軽やかに、軽やかに広がっていくことを感じます。ただただ、あの宇宙へ帰れる喜びだけを伝え合っていけることが嬉しいのです。

こんなに嬉しい時がやってくるとは思いもしませんでした。この三次元に、もうすぐさようならです。私は、たくさんの転生を重ねてきたけれど、心を縛りに縛ってきた。肉の中で、本当に肉、形の中で、自分がどれほど愚かなことをし続けてきたのか。

私はこんなに広い、広い、どこまでも広がっていく存在だったのに、この肉の中で、肉という思いをずっと広げてきたから、心は本当にちっぽけな、小さな、小さな中に閉じ籠って、苦しい、苦しい中を生き続けてきました。

今、UFO達を、そして、宇宙を思うとき、心が解き放たれていきます。肉にとらわれることなく、肉、形の世界にとらわれることなく、ただただ、ただただ思いが広がっていくんです。温かい思い、優しい思いです。

そうです。宇宙で闘ってきたけれど、その時、私は自分の中が、もっと、もっと、



今よりも、この今よりも、もっと広がっていたと思います。

三次元にやってきて、その中でちつぽけに納まってきた自分を思うとき、凄まじいエネルギーの中で宇宙を支配してきた思いは、とても凄まじかったけれど、しかし、私は、この三次元で心を小さくしてきた自分を感じ、今、自分に懺悔しています。

私は解き放たれた空間にありました。UFO達の思いを感じます。UFO達も思いを感じてくれています。UFO達も、思いをもっと、もっと解き放して、もっと、もっと自分を広げていくことを、語ってくれます。

「私達は、本当に広い世界にあったんだ。温もりと喜びの中にあつたんだ。そんな私達をもっともつと感じていこう。

ただただ、ただただ母の温もりの中へ、田池留吉、アルバートと呼ばれる意識の中で私達は存在している。ひとつの中に存在していることを私達は、もつと、もつと知っていくんだ。」という思いを確認し合っています。

ああ、嬉しいです。心の中に喜びが広がっていきます。苦しい中を生き続けてきたけれど、ようやく、ようやく、自分を、もつと、もつと広い世界へと帰していけるこの道を、ただひたすらに真っ直ぐに歩いてまいります。ああ、ありがとうございます。愛のエネルギーにいざなわれて、私達は存在していました。愛から生まれて愛へ帰っていく。ああそうでした。愛から生まれて愛へ帰っていく。愛のエネルギーのすごさを、私はまだまだ、ああ、知りません。この肉を通して、もう少し、その学びをしてまいります。田池留吉、アルバートの世界をさらに、さらに感じていきます。

306      どんな瞑想もそうですが、継続していくことが大事です。

心の底の、底の、底にあるエネルギーを出す瞑想にしても、肉体細胞を思う瞑想にしても、UFOに向けての瞑想も、回数を重ねて継続していくことが大事です。そうすれば変化していきます。心に感じて響いてくるものが変化していくんで

す。

たとえば、UFO。先日の有馬のセミナーから帰ってきて二週間。たった二週間で、UFO達へ向ける思い、UFO達から返ってくる思い、心に響いてくるものが私の中でどんどん変わっているように思います。

同時に、色々なことに気付かされ、ああ、意識の世界ってすごいなあとつくづく感じます。

心の底の、底の、底に向ける瞑想も、もう皆さん、実に喜び、喜びと変わっていているのではないのでしょうか。それとも未だにそのエネルギーに振り回されていますか。

凄まじいエネルギー、大歓迎です。凄まじいエネルギーほど、喜びと温もりを伝えてくれるんです。そこを感じ知っていけば、本当に大歓迎です。そうなってくれば、実はそれは本当にちっぽけな世界のものだった、何でこんなエネルギーにしがみついていたのか、本当に苦しかったねと、自分にしみじみ語り掛けてい

けるようになります。

だから、ただただ嬉しいだけです。ありがとうだけです。こうして肉を持たせてもらって、自分の過ちに自ら気付いていく計らいの中にあるありがたいさが、心の底から伝わってきます。

そして、宇宙を思い、UFOを思ってみてください。もう本当にどれだけ嬉しいか。どんなにこの時を待っていたか、自分の心にピンピン響いてきます。田池留吉、アルバートを思い、UFOと交信する喜びの瞑想を継続していきます。

307 UFO、UFO、UFO、UFO、UFO、出会えて、出会えて、よかった。よかった。

よかったね。温かい、温かい中に、優しい、優しい中に、ああ、ともにあることを感じられる。

私達は愛でした。愛でした。愛のほうへ心を向けてまいりましょう。向けてみてください。

私達は愛。田池留吉、アルバート、お母さんの温もりの中でひとつ。ひとつの中にありました。UFO達は、ああ、私達は愛だということを心に感じ始めています。たくさんのUFO達が飛んできます。この地球上に、たくさんのUFO達が飛来してきます。

心の中を見てください。あなたの心の中に響いているはずですよ。

UFO達の思いを感じてみてください。UFO達の思いを聞いてあげてください。優しい、優しい思いで聞いてあげてください。

ともに愛に帰る存在だと、ああ、伝わってくるでしょう。

UFO達はどんどん目覚め始めています。宇宙は変わっていく、宇宙へ愛が流れていく、この喜びと温もりが心に響いてきませんか。

私達はこれからますます、UFO達を呼んでまいります。たくさんの、たくさんのUFO達の目覚めを促してまいります。UFO達は、私達の大きな、大きな力となっていきます。

「苦しいUFO達、悲しいUFO達、闘い続けてきたUFO達、私達はもうそんなことを止めましょう。苦しいことはありません。悲しかったこともありません。闘い続けていくこともありません。

ただただこの広い、広い中へ帰っていきける、愛の中へ帰っていきける一筋の道があるんです。どうぞ、この道をともに歩いてまいりますよう。」

私はUFO達に呼び掛けています。

心の中にUFO達の思いが返ってきます。ああ嬉しいですよ。ともに帰れることを心に感じます。私達は仲間。私達はひとつ。ともに、ともに帰れることをただただ喜び合っていきます。心の中を広げてまいります。

308

宇宙、UFOと違って瞑想をすれば、必ず異語を語ります。その瞑想は実に嬉しい瞑想です。異語で互いに通じ合っている感覚は、何とも嬉しく懐かしいですよ。そう、懐かしさが込み上げてきます。

自分の培ってきた凄まじいブラックのエネルギーが、涙と汗の中で、温もりと喜びを伝えてくれた体験は、本当に言葉にならないくらい嬉しくて、ありがたくて、それが瞑想の醍醐味だと数え切れない体験を経てきたけれど、宇宙、UFOに向けて異語で通じ合う瞑想もまた、心の底から、田池留吉、アルバートと突き上がってくる喜びを感じさせてくれて、嬉しい。

ああ、本当に、みんな、みんなこの波動を求めて彷徨い続けてきたんだと実感します。宇宙を思う瞑想。UFOを思う瞑想。この瞑想はとても大切であり、この瞑想を通して、本当に、今、ここにこうして肉を持っている意味と喜びが心に響いてきます。

理屈ではありません。田池留吉、アルバートの意識の世界とひとつに溶け合っていることが現実のものだったんだと、本当に長い、長い時を経てきたことが、私の中に響いてきます。

309 京都セミナー、ありがとうございました。振り返り、新たな学びの形態により、私自身の学びのステップアップになったことを感じます。肉は、そのことにまだ十二分に喜びを感じていないけれど、確かな一步を、私は、踏み出したと思っています。

宇宙、UFO、特に最近、UFO達に思いを向け、語り掛けるということをしていったとき、宇宙はどんどん目覚めている、UFO達はどんどん目覚めている、そのスピードは、地球人類、こうして肉を持っている意識達の比ではないことを感じています。

だから、宇宙とUFO、そして、今世、日本の国から学びが始まったということでアマテラス、それから次元移行のキーワード、天変地異にどんどん思いを向けて瞑想をしていくことが重要だと感じます。

UTAの輪は、そういう方向にどんどん進んでいくでしょう。田池留吉、アルバートの世界と交信しながら、宇宙とともに、UFOとともに、学びが進んでいきます。

だから、そんなに大勢の人達が集ってこなくてもいいんです。本当に心を合わせて向けていける仲間達とともに、そして、肉を持たない仲間達とともに、田池留吉、アルバートの波動の世界を学び、肉を持つている者は今の肉を置いて、それぞれ次の転生に繋いでいければ万々歳です。

もうすでに、二五〇年後の舞台は整っています。

315

UFO達と出会えて本当に嬉しい。UFO達の思いを感じられる今が本当に嬉しい。ともに帰れることを喜び合っています。宇宙を呼びたかった。宇宙に心を向けたかった。

真つ暗闇の恐怖の宇宙ではなくて、温もりで、どこまでも、どこまでも広がっていく温かな宇宙の中に私達はあつたんです。

UFO達が伝えてくれる。

「どれだけの時を彷徨い続けてきたか分からないけれど、今、私達の仲間、たく

さんの彷徨い続け、苦しみに沈み込んでいる仲間達に思いを向けていく」と語ってくれます。

愛、本当の温もり、本当の優しさ、そして私達が帰るところ、そこを目指して、これからともに存在していけることが、ただただ嬉しいのです。

私は宇宙に思いを向け続けます。宇宙からも思いが返ってきます。

ああ、私の意識の世界は、そういう状態になっているんだと感じます。

本当に嬉しいです。今世、田池留吉の波動と出会ったからです。アルバートの波動と出会ったからです。本当にありがとう、ありがとうございます。

317

UFO達が凄まじい勢いで、温もりを目掛けて、愛のエネルギーを目指してやってくる。しかし、そこには何の恐怖もない。ただただ、それらをみんな受け止めて、受け入れられるだけの限りなく広い世界がありました。どんなに凄まじい勢いで突入してきても、すべてを受け止めていけるんです。広げて、どんどん広げてい

けば、UFO達は一斉に叫ぶ。お母さん、お母さんと。心の底の底の叫び声が、やっと、やっと、お母さんとなったんです。それは、どんなに心の底から呼びたかった思いだったのでしょうか。

やっと、やっとでした。そこにはただただ母がいた。母の温もりがありました。明るくどこまでも広がりゆく中に、本当に、本当にその懐に帰っていきける喜びを目指して、夥しい数のUFO達が存在する様を心に受けました。夥しい数、まさにそれは、エネルギーの軍団と言えるでしょう。

宇宙が本当に変わっていくんだ、こうして、心に響き渡る今が本当にすごいと思いました。

329 宇宙の目覚め。UFO達の目覚め。愛のエネルギーは宇宙にあまねく流れ、そこに愛のみがあることを証明していきます。

地球上に転生してくる意識達も、どんどん目覚めていかなければなりません。

この地球という星は愛を流しています。すべての意識達とともに、愛に帰る道をただただ喜んで、喜んで進んでまいりましょう。

宇宙を呼んでください。UFO達に思いを向けてください。肉からの脱却を果たしてください。

私達は愛、心のふるさとへ帰ります。自分の心からの叫びを、どうぞ、どうぞ、喜んで、喜んで受けてください。

叫んでいます。心のふるさと、愛へ帰ろう。どうぞ、心からの叫びに、喜びで、喜びで応えていってください。

UFO達の喜びを、あなたの心は感じていますか。ともに帰る仲間だと、心から感じられますか。こんな嬉しいことはないです。どんなにこの時を待っていたことか。本当にやっと、やっと巡り合い、やっと、やっと約束を果たしていくことができるんです。

心で感じてください。響き合う、共鳴し合う喜びを、温もりとともに、ともに

感じてまいりましょう。UTAの輪はそういう意識達との出会いを待っています。  
ともに学んでまいりましょう。

## テーマ 「肉体細胞」

44 愛しか存在しない。愛のエネルギーしか存在しない。愛のエネルギーに満ち溢れている。

瞑想を重ねていけば、心に響き伝わってくるメッセージです。目は映像を見て、耳は音を聞いて、口はいつでもいいようなことを発して、だけど、それらの肉体細胞すべてが醸し出す波動は優しい。温かい。そんな肉体細胞とともに宇宙を思える時間と空間に、ただただありがとうございます。

瞑想をすれば、自ずと肉体細胞に思いが向き、そして、肉体細胞から思いが返ってきます。喜びと優しさ、温もり、そのような中で、私の口から異語が出てきます。エネルギーとして異語を発して、そのエネルギーは宇宙を呼んでいきます。宇宙と通じ合っている感覚を、瞑想の中で楽しみながら確認して、私は瞑想を続けます。幸せな時間です。何も必要なかったです。思えば通じる世界の中で、ただただ思いをともに馳せられる喜びと幸せだけが響いてきます。

私は宇宙と思うだけで嬉しいです。宇宙を思い、愛を思い、そしてともに存在している喜びを思う。思うこと、思えることはすごいし、素晴らしいし、本当に幸せだと実感します。

45 宇宙に愛を流す。

頭では到底分らないことだし、分からないことは信じられないし、それどころか全く荒唐無稽の話になってきます。

ところが不思議。目を閉じて思いを向ければ、それが現実のものとして、実感します。ブラックのエネルギーばかりを垂れ流してきたけれど、宇宙を思い瞑想をすれば、ただただありがとうで通じ合う世界が感じられます。

今、私は自分の肉体細胞とともにその喜びを感じています。肉体細胞に思いを向ければ、宇宙を思う喜びとともに感じられる喜びを伝えてくれます。ともに仕事をしていきましょうと伝わってきます。

こんな瞑想をする時間を、一日、一日重ねていくことが、本当に喜びだし、そ



うするために、私は肉という形を持って学びに繋がったんだと、ただそう思います。凄まじいエネルギーの坩堝るっほだった宇宙を思うことが嬉しい。宇宙に愛を流せる。宇宙を思い瞑想を続けます。

80 私の小宇宙、肉体細胞に思いを向けて瞑想をします。

肉体細胞から、優しい、優しい波動を感じる。私はこの波動の中で存在していることを感じます。

そして、肉体細胞があるからこそ、私達は愛へ、愛へ帰る今であることを喜びと感じます。宇宙を思える喜び。愛を思える喜び。こうして、肉体細胞とともに瞑想ができることが喜びです。

愛、愛、愛を思ってください。肉体細胞からそのような思いが届きます。肉体細胞の力強いエネルギーが私の中に届きます。

私は肉体細胞とともにあることを喜んでいきます。

肉体細胞の心が響いてきます。愛のエネルギーが響いてきます。優しい思いが響いてきます。ともに存在していることが喜びです。ありがとう。ありがとう。肉体細胞をこのように思えることが嬉しいです。

肉体細胞から、もちろん愛のエネルギーを感じます。

「私達はともに、ともに、ここに存在しています。愛を流していきます。どうぞ、どうぞ、田池留吉、お母さんを思って瞑想を続けましょう。私達はともにあります。この喜び、温もりの中にもあることをお伝えします。」

今日も元気で心穏やかに、目の前の仕事を淡々とこなし、そしてただ一点、心の針を向けて合わせていけることに感謝です。

88 肉体細胞を思いながら、肉体細胞の波動を感じながら、存在していかないと、自分の決めてきた予定はこなせないです。

肉体細胞から流れる愛の波動を心に受け、ともに進んでいこうと呼び掛ける喜びのエネルギーは、自分に返ってきます。

その良き循環の中に存在していることを喜びながら、さらに肉体細胞とともに瞑想を続けます。今はそういう時間です。必要があるから肉体細胞はそこに存在してくれています。その意味をしっかりと喜びで受けて、自分の歩みを進めていけばいいんだと私の中に伝わってきます。

プラスはプラスを育んでいきます。プラスのエネルギーだけが存在していることを感じさせてくれます。

肉体細胞はいつもありがとうを発しています。そうです。肉体細胞はいつもありがとうだけを発しているんです。

89 UTAブックさんのホームページを見て、少し思いました。

タイケトメキチを思うことで、肉体細胞に愛が流れているとありましたが、それは違います。肉体細胞からはすでにいつも愛が流れているのです。肉体細胞は愛のエネルギーしか流していません。それを遮り、それを侮り、軽視し、肉体細胞に思いを向けないで、目の前の肉、形の中で自分の思いを満足させようとしてきた愚かな私達があるだけなんです。

確かに思うことは、何よりも、何よりも大切なことです。さらに、何を思うか、どこに心の針を向けるか、向けているかを知る、確認することです。

田池留吉を思えばいいということは、学びをしていけば、どなたも知っています。ただ、それが自分の中で、どの程度スムーズに捗っているかが問題なのです。

敏感なのはほとんどみんな敏感でしょう。自分の作ってきた闇のエネルギーに即反応します。しかし、そこからの一步を本当に歩み出しているかということでしょう。

たとえば、次のようなことを絶えず検証なさっていますか。

あなたは本当に母の温もりを知っていますか。広げていますか。あなたの中で、意識の転回がどの程度捗っていますか。あなたの軸足はどこにありますか。

愛のカードその他のものは、田池留吉に心の針を向けやすいように用意されたものです。どんどん活用していけばいいのではないのでしょうか。

そして最終的には何もなく、ただ思う、思えばどうなるかというお勉強になるかと思えます。死ねば何もないんですから。

97 もうすぐセミナー。

どうぞ、自分の心の叫びをしっかりと聞いて、そして受け止めて、ともにあることを喜んでいきましょう。

優しい自分と出会ってください。温もり溢れる自分と出会ってください。

肉体細胞に思いを向けながら、肉体細胞の思いを感じながら、今ここにある喜

びと幸せを満喫してください。

肉はみんな大したことはありません。肉が肉のままだと愚かなだけです。

だから賢い肉になりましょう。本当の意味の賢さを知っていきましょう。

本当の自分は賢いです。本当の自分は優しいです。

本当の自分を知っていく道を、一歩、一歩、歩んでいくことが、本当の賢さです。

肉は大したことはないけれど、賢明な肉を目指しましょう。

テーマ 「死後」

29 死後直後の私を見ていてくださいと、田池留吉は言いました。それが田池留吉にとって、ワクワクするような証になるように、私にもまた、ワクワクするような勉強をさせていただけるところを感じます。

今からワクワクします。

肉ある田池留吉とともに学ぶことは、ある意味容易いことで、それなりの効果も上がりますが、その一方で、現実、今、肉を持っているんだから、完璧に学ぶということは難しいです。

それが、肉がないという現実の中で、自分の心に響き伝わってくる存在感をしっかりと確認できれば、これは私にとって、大きな弾みとなります。

私はそれを大いに期待して、心待ちして、日々、瞑想を重ねていきます。

より純粋に、高度に、意識の世界、波動の世界を学びたい。学んでいけるように、自分の中を整え、永遠に存在することに思いを馳せていきます。

56 先人達は、神とは何か、人生とは何か、いかに生きるべきか、そして自分とはいつたい、いかなる存在なのか、死んであの世でどうなっているのか等々、思索に思索を重ね、人によっては修行、荒行を重ねて、いわゆる真理探究に勤しんでこられたのでしょう。

そして、私達の中にも、そして、私自身も、彼らと同時期に肉という形を持って、同じように道を究めようとした転生があったでしょう。

そのような転生を経て、今という時間を私達はいただいています。

みんな自分が計画をしてきたことに違いありませんが、全く間違つて存在し続けてきた自分達だったことを、今という時間の中で、目の前で現実に伝えていただいたことは、それは、それは殆ど奇跡に近いものです。

「自分の心を見なさい。見てください。あなたの針はどこを向いていますか。あなたの心の向け先はこちらですよ。」

しっかりととはっきりと伝えていただいています。あとは、これを本当に自分の

中で実践する以外にないんです。

こういう学びに繋がりがながらも、自分の中の優しさであるとか、温もりであるとか、喜びの自分、真実の自分、真実の道を見出せないなんて、それは、本当にかなり重症、深刻な状態にあると思っただけでしょう。

肉ではそれなりに楽しい時間もあるだろうし、ああ、自分の周りは整ってきた、これは学んでいるからだという思いもあるかもしれませんが。学びと並行して、生活の充実感もあって幸せだという方もあるかもしれませんが。ですが、本当に学んでいるのでしょうか。あなたは、自分に何を伝えることができますか。静かな時間の中で、じっくりと自分と向き合いましょ。

死ねば自分だけの世界です。今、肉を持っている間に、死後の自分を感じていきましょ。死後の自分と対話する、現実の話になっていますか。

61 私の死後を呼んでみます。今のこの肉体を離れたあと、私の状態を、今ここに感じてみます。

意識の私が今語ります。私は、今、肉体を持っています。この肉体を離れたあとの私の世界を、今、心に感じています。

私は母を呼べると言いました。そうです。私は母を呼んでいきます。私の中の温もりと喜びの私を感じていけることを、私は私に伝えました。

私は今世のこの肉体を境にして、私の意識の世界は、本当にガラリと変わったことを、私自身に伝えていきます。

私は、田池留吉を呼べば、心の中に喜びが広がっていくんです。

懐かしい、懐かしいふるさと、私のふるさと。私のふるさと、母なる宇宙を私はこの心の中に広げていくことができる。

私の中で田池留吉は、喜び、喜びの私をいざなってくれます。

私は、死後、この肉体を離れたあと、その次の肉体を持つまでの間、私はこの自分を感じています。

その次の肉体は、私にとって最後の肉体です。

私はこの心の中からアルバートの世界を広げていくために、最後の肉体を持ちます。

これは私の中で、もうそのようになっていきます。私は意識の私を、今、心に感じていきます。心の中に優しさ、喜び、温もりの私をどんどん広げていくこと、私の中の素晴らしいエネルギーは、その中にすべて吸収されていく道筋にあることを心にかけています。

私は、だから、何も恐怖はしておりません。不安もありません。ただただこの喜び、安らぎの世界が自分の中にあつたことを知ったこと、それが私の本当に本当にたつた一つの喜びでした。

私は、この喜びをこれからの時間、自分の中でどんどん広げてまいります。田

池留吉のメッセージは私の中に届きます。

田池留吉が肉体を離れたあと、私の中から、田池留吉が語ってくることも、私の意識の世界は知っています。

そして、私はその波動を流し続けます。田池留吉に心の針を向けて合わせていく私であることを心は知っています。

私は私の道を間違えることなく、迷うことなく、真っ直ぐに、ただただひたすら真っ直ぐに突き進んでいく、それが私の喜びだからです。

私は、この喜びを心に広げていきます。だから、私は、過去より培ってきたどんなに素晴らしい大きなエネルギー、真っ黒なエネルギーであっても、私は心の針を田池留吉、アルバートに向けた瞬間に、それは喜びへと変わっていく、その体験を重ね、重ねて、私は二五〇年後に肉体を持ちます。

そして、すべての意識達に、母なる宇宙へ帰ろうと呼び掛けていきます。肉なき意識達とともに、次元を超えていく喜びの道筋を歩いてまいります。

意識の私は、このように語ってくれました。

64 私の死後を語ったとき、私の中の喜びが大きくなっていくのが分かります。こうして、私は存在しているんだ。死んでも死んでいない。肉体を離れたあとも、私はこのようにして、心向けられる喜びだけが広がっていくことを確認させていただきました。

田池留吉に心向け、私は田池留吉からのメッセージを受けます。

ともに歩いていきましょう。ともに進んでいきましょう。私達は愛の中へ帰る意識。ともに、ともに歩いていける、そして、ともに、ともに存在していける喜びをお伝えします。そのメッセージしか届きません。

そして、私はともに、ともに次元を超えていく多くの仲間達に、この喜びを伝えます。たくさんの宇宙達が、私の心にアクセスしてくるこれからの時間、私は喜んで、喜んで、その意識達を受けてまいります。

心の中を見つめてまいります。私達は温もり、優しさ、喜び。広がりのある私達を、本当に心に思い起こし、そして私達が作り続けてきたブラックのエネルギーを、どうぞ、この中にしっかりと帰してまいります。

帰していける喜びが、私達にはあるんです。私達はパワー。愛のパワーの中に活かされているエネルギーです。それを私は心の中よりお伝えします。心の中から伝わってくる優しさ、喜び、大いなるパワーは、私達です、というメッセージをしっかりと伝えていきます。

心を田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ向けて、存在していける喜びだけが広がってまいります。

77 私は、私の中には、自分の進むべき道の方向転換をきちんと遂げているという思いがあります。

それは私自身、日々継続している正しい瞑想の中で確認していることです。



中途半端な学びはしていない。きちんと方向転換をして、私は愛へ帰る道を淡々と、しかし、着実な一歩を進めているという確信があります。

だから、私は私の中で、自分と自分の対話の中で、学びを進めていくことができます。その軸足はずれない、ぶれないという確信が、正しい瞑想の中で育っています。

死ねば自分一人。いつも念頭に置いています。自分の中にきちんと応えてくれる自分を見出せなくては、どうしようもないという厳しい現実をいつも心に感じながら、私は私の勉強を進めています。そして、それはただ厳しいのではなく、それが本当の優しさだと私は感じています。

肉の優しさだとか、温もりはやがて消えていきます。しかし、決して消えない優しさ、温もり、喜びを知ったから、消えていく優しさ、温もりにも心からありがとうございます。

自分の中の田池留吉に心向けさえすれば、きちんと心に答えが返ってくることを確認して、また確認して、そうして歩みは進んでいっているんだ、進めているんだと感じています。

自分の中の田池留吉が本物か偽物か、心はみんな知っている。意識の世界はみんな知っている。正しい瞑想の中で、はつきりとしてきます。

93 私は、昔の闇出し現象のお勉強で、自分の地獄の声を聞いてきました。そしてその地獄の叫び声は、みんな温もりに、本当の自分に帰りたいという叫びだったということも確認してきました。

また、私は、意識を受けるといってお勉強の中で、まだ肉体を持っている人もそうですが、特に死んで肉体がもうない人達にも意識を向けるということをやってきました。

一〇〇%、みんな固まっていました。死んで、ドーン、ドーン、ドーンと落ちていく様を語ってくれる意識もありました。

そのようなお勉強を経ながら、肉、形の世界でない世界の現実をしつかりと見据えて、肉を持つている今、学べることは最大限に学んでいくという思いが、瞑想の中で強く響いてきます。学びの最大のポイントは、死後お母さんを思えるか、田池留吉を呼べるかに尽きると思えます。

肉を持つて学んでいることが、死後の自分にどのように反映されていくのかということだと思えます。

その中で、感じるのはやはり自己確立の道です。この道こそ、優しくて温かい、本当の喜びと温もりの道だと、私は感じています。

自分を救えるのは自分なんです。自分に本当のことを伝えることができるのは自分なんです。確信の道を歩いていきましょう。

111 学びの指針に従って学んでいけば、いかに幸せな自分であるか、いかに幸せな時間を過ごしているか、どなたの心にも響いてくるはずです。

素直に喜んでいきましょう。瞑想をする時間を持つてること自体、幸せなことです。あなたはそう思いませんか。私はそう思います。

瞑想ができる、支障なく瞑想ができる、これほど幸せなことはないのではないのでしょうか。

正しい瞑想、本当にやっていますか。

自分の死後を思える、死んだ自分と語れる今がある、これから生まれてくる自分を感じられる、こんな喜ばしいことはありません。

何で生まれてきたのか、何をするために生まれてきたのか、産んでもらったのか、何度も、何度も、自分に問い掛けて、そこから流れてくる自分の思い、エネルギー、波動を心で感じてみてください。

半端な思いでこの世に出てきたのではないことが感じられるはず。その思いが心に響いてこない人は、学んでいるとは言えないでしょう。

肉を生かすための人生ではありません。本当の喜びはどこにあるのか、本当の

幸せは何なのか、過去死んだ自分から、そして来世生まれてくる自分から学んでいきましよう。もちろん中の田池留吉とともに。

学ぶとはそういうことなのではないでしょうか。

131 私の死後、死んでこの肉体がなくなったあと、私はどのくらいの時間で、自分が死んだというのを感じて、そして、そこからどのように存在していくのか、私は私の意識に再び聞いてみます。

何度も感じてきましたが、今、私は私にしっかりと聞いてみたい。

それは、私のこれからの学びに大いに役立つていくこと、それを目指して私は私の道を着実に進めていかなければならない、またそうやっていく、そういうことを感じるからです。私の死後、死後の私に思いを向けてみます。

私は自分の心臓が止まり、死んだとする瞬間から、どの程度の時間で自分が死んだと分かるのか、また分かれば、私の中に恐怖が上がってくるのか、そのところを私は私に語ります。

私は死んだと分かるには、そうですね、一時間とはいかないまでも、私は、この地球上の時間からすれば、何時間かのうちに、私は死んだということを自分に伝えます。

そして、私の中に、自分が死んだと思った瞬間、では、私はこれからどこに心に向けるのか、その心の向け先を確認する余裕があります。私を恐怖の中に落とすことはありません。

なぜならば、私は自分の中の温もりも、喜びも知っているからです。肉体があるときに、しっかりと心に感じ広げている世界がありました。

お母さんに思いを向けたとき、田池留吉に思いを向けたとき、心に伝わっていく世界を、私の意識の世界はしっかりとつかんでいます。

私は、頭で学んでいるわけではありません。私の意識の世界は、どの方向に私を向けていけばいいのか、私は、即座にその方向をしっかりと定めるでしょう。

そして、私は、しっかりとただただ思いを向けていくだけです。向けていくとき、私の中に色々なエネルギーを感じます。しかし、私は、そのエネルギーの中に埋没することなく、ただただ思いを向けていくだけです。

私は温かな優しい思いをメッセージとして感じ、その方向に心を向けていきます。

その時間が二五〇年、地球時間で言うと、二五〇年という時間なのです。私はその時間は、私の中で一瞬のうち、すぐさま過ぎ去っていくように思います。

ただ、心を向けて合わせていくことを、私の意識の世界は学びました。本当に心で学びました。心の向け先を知るとは、私にとって、とても大切なことでした。それを、ただただひとつの使命として、私は、私に忠実に存在し続けてきました。心の向け先をしっかりと固定する、肉を持っている間に学ぶことはそれだけでし

た。固定すれば、その中から、私は私を広げていくことを学びました。なぜならば、私の中に優しさ、温もり、愛溢れる喜びのエネルギーがあることを知っているからです。その方向で、私が私をいざなっていきます。心の中の凄まじいエネルギーは、私の中の温かな優しい温もりの中に包まれていく。私は、そのエネルギーで押し潰されることはない。固まっていくこともない。

固まり続けてきた私の歴史の中で、これほどの転機を迎えた。この時がなかったらと、私は来世の肉を持ったときから、まずそのことを思い出します。

ありがとう。二五〇年前に肉体を持たせていただいたからこそ、今の私があるんだと、私は来世の私に伝えられる。来世の私は、そのメッセージを受けて、自分の肉体を通して、意識の世界、波動、エネルギーを流していくことが、意識の流れの中の計画だということを知っていきます。

だから、私は不安も恐怖も何ありません。ただ、自分の死後、この肉体を置いたあと、どのように存在していくか、その都度、その都度、確認していくこと

は、私の歩みをより正確に進めていくことだと、私は知っています。だから、私は、時を置いて、自分の死後を見ます。自分の死後を語ります。死後の自分を語ることは、今の私を語ることなんだということも、私には分かっています。

田池留吉のメッセージを、私は受け続けていくのです。

田池留吉の肉体をなくしたあと、私は受ける波動、エネルギーを、ただ言葉に変換して、私はメッセージを伝えます。

どんなときも、これからの現象の中で、その都度、私に伝わってくるのは、また私が問い掛けて、その問い掛けに答えてくれるのは、田池留吉の意識の世界。その世界だけを私は真っ直ぐに見つめ、存在していくことが、肉ある、肉なきに拘らず、私のする仕事だと私は私に伝えます。

田池留吉にメッセージを乞います。

私は田池留吉の意識の世界からのメッセージを受けます。

私は田池留吉の意識です。意識と意識の交信を、ただただ、ひたすらにやっています。波動、エネルギーを流してくださいさる肉体との出会いを私は喜んでいきます。私の波動、エネルギーを正確に受け、ただただその波動、エネルギーを正確に流していく、時には言葉に変換して、時には何も語らず、ただ波動、エネルギーを正確に流していくことだけに集中してください。

そうすれば、あなたは、どんなにすごい世界を感じているか、これからの肉のある時間に、あなたはさらに学んでいかれるでしょう。

それが、あなたの二五〇年の間に至る時間にも繋がっていきます。二五〇年後の肉にも繋がっていきます。次元移行への計画をさらに進めていくことにも繋がってまいります。心の中の田池留吉、アルバートに、針をしっかりと向けて合わせていくことだけに専念していくのです。

あなたが語ったように、心の針を向けて合わせていく、心に向けることもまま

ならない人が多いです。心を向ける、ましてや合わせていくことは、本当はとも難しいことなんです。

私は難しいと一言言えば、それから先の学ぶ意欲が削そがれるから、ただこうすればいい、こうしてください、そうすればという言い方をしておりますが、現実の話、あなたが語ったように、合わせて向ける、向けて合わせていくことは、本当はとも難しいことです。

今世、生まれてきた喜び、幸せを本当に心で受け止め、自分のやるべきことを心で理解し、心のなすままに、しっかりとその肉を動かしていくことが、とても大切です。

決意を秘めて生まれてきた、その思いを大切にしてください。どんなときも、ただただ思うのは、田池留吉、アルバートが指し示す方向です。その方向に少しでもズレがあるときは、あなたの中から私が伝えます。あなたの中の針がずれていますよ。その時、あなたは素直にそのメッセージに従ってください。

そうなることは、全くないとは言えません。しかし、あなたの意識の世界は、いつも、いつも田池留吉を思うことをしています。田池留吉の心のままに、あなたの心に向けていくことがすべてだと、あなたの意識の世界は知っています。心の針がずれていくことは、殆どありませんが、しっかりと、しっかりと、その点だけを注意なさってください。

あとは、あなたが語ったように、肉は楽しく生活をすればいいのです。

ただ心の針の向け先です。合わせることの難しさ、心に向けることの難しさ、それを本当に心で分かって、そして、しっかりと自分の計画通りに、歩みを進めていくことがとても大切です。

要するに、私を知っていくことが、何よりも、何よりも大切なことなのです。

あなたに伝えてきたことは、全く間違いはありませんでした。

私はあなたとの出会いを心待ちにしていました。その思いを懸けてきたことに間違いはなかったことを、私はあなたが瞑想を重ねていく中で、私も、ああ、間

違いはなかったことを確認しています。

瞑想を通して、心と心の通信、交信を怠ることなく、私の思いを流していきなさい。メッセージとして流していきなさい。波動として、エネルギーとして流していきなさい。あなたの行き先は私とともにあります。あなたの心の向け先をしつかりと、しつかりと合わせ、私に心を向けていけばいいのです。

155 私は、死後の自分を感じ、死んだらどうなるのか、今、はっきりと自分の心で感じていくことが大切だと思っています。

それが一番、これからの自分にとって、大きな意味をなしていくと思います。それを心で感じ、心に広げ、そのことをどんどん、どんどん、そうだ、そうだと心で感じていくことが、自分にとって一番大事なことだと思っんです。

田池留吉を呼び、アルバートを呼び、お母さんを思い、宇宙を思い、瞑想を続けています。

自分の死後は、今、現実的なものです。死んで自分はどうなるのか。

心の中で感じ、それが現実のものとして今、心で感じられること、その感じたものをしつかりと受け止めて、それを、自分の学びのポイントとしていく、自分の歩を進めていく、その思いはとても大切だと思っんです。

だから、私は、自分の死後を呼ぶ瞑想、自分の死後を感じる瞑想、自分の死後と語る瞑想、そういう方向に心を向けて、その時間をたくさん持ちたいと思います。

私は意識の私を感じています。私はこの肉体を離れたあとの自分の世界を心で感じ、私は今を生きています。

心の中に、アルバートの世界が広がっています。田池留吉、お母さんと呼ばば、心の中に温もり、喜びが湧いてくるのを感じる。

それは、肉体を持っているからだと思うときもあります。だから、私はこの肉体を離れたあとも同じ状態なのかと、私は、自分にいつも、いつも問い掛け、学

びを進めています。

私の意識の世界が本当に根底から変わったのは、今世、ああ、田池留吉と出会えたからです。田池留吉の波動を自分の中にしっかりと受け、私の中の喜び、温もりを目覚めさせたからだ、私は思っています。

「愛、あなたは愛です。私達は愛です。一つです。」その言葉、その波動を心に受け止め、私はこの道を通つ直ぐに突き進んでいくことだけを考えています。

私の死後、私のこの肉体を離れたあと、地球時間の二五〇年の間、この時間、私はどのように存在しているかと、私は何度も、何度も問い掛けました。私の現実としては、田池留吉を呼べる、呼ぶんだということが心の中に響いてきます。

それを、何度も何度も繰り返し確かめ、そして、その都度、その都度、私の中に広げていくこと、それが私の勉強にとって、とても大切なことだと思っています。ありがたいの思い。ただただ喜んで受けていける喜びの中にあつた自分を広げ感じていくこと。私の中のエネルギーは、それを求めています。

間違つた道を歩き続けてきました。彷徨い続けてきました。狂うしかなかった自分の時間を振り返り、私は、今、本当に幸せです。

心の中を見ていくと、私は幸せだったんだ、喜び温もりだったんだと、そんな私がたくさん、たくさん私に呼び掛けてくるんです。

私はそれを全部自分の中に受け止め、私達はともに愛に帰る喜びのパワーであることを伝え続けています。これからも伝え続けていきます。

心の中を見てくださいと伝えていただきました。凄まじいエネルギーはこの中に静かに、静かにありました。そして、それを段々、段々目覚めさせていくように仕向けました。

心の中からどんどん凄まじいエネルギーが飛び出していきました。苦しみの中から、ようやく、ようやく、明るい方向へ目覚めていける自分を感じるたびに、私は、今世この肉体を持たせていただいたことに感謝しかありません。

苦しかった。ああ間違つてきた。だけど、私は、今、自分の中を感じています。



私の中の喜びと温もり、愛溢れる自分を、もっともっと信じていきたいと思います。私は私の中に呼び掛けています。

田池留吉、アルバート。私はあなたの意識の世界に出会えることを待ち続けてきました。ようやく現実のものとして、自分の中に響いてきたとき、これこそ、本当の私なんだと何度も感じさせていただきました。

私はエネルギーです。パワーです。愛の方向へ心に向けた時、エネルギー、パワーが全開していくことを感じます。

その凄まじいエネルギーこそ、愛へ、愛へ自分をいざなっていける大きな力です。それこそ、この私自身です。私が私をいざなっていくことを、ああ、瞑想をするたびに感じ、私は、とても嬉しいです。

このことを心で感じ広げていけるこの時間。私は今も、死んでも、このことをやり続けることを心で感じています。とても嬉しいです。

私は死んでいない。死んでいなかった。

ともに、ともに歩いていけることを呼び掛け続けてきた私の中に、私は生きていました。

心の中に私がありました。私の中に私がありました。

愛、愛、愛の私がありました。宇宙へ帰れる私がありました。

ともに歩めることが喜びです。ありがとうございます。

心の中にありがとうを広げていきましょう。田池留吉からのメッセージを受けて続けていきます。田池留吉は、私の中の変わらぬ喜びと温もり、パワーの世界でした。心の中を見つめていくと、喜びと温もりが溢れていく自分に出会えます。

田池留吉に心の針を向けて合わせる難しさを感じます。しかし、私はその喜びも感じています。向ければ向けるほど、合わせていけば合わせていくほど、心の中は広がっていきます。宇宙が広がっていきます。これが私の仕事でした。私が私をいざなっていける道筋を、自分の中に見出し、ようやく、その喜びの道に私を進めていける今世との出会い、ありがとうございます。

苦しい人生の中で、ようやく、ようやく開けていった私の中の明るい未来。私は過去の私とともに、この未来を私の中へ広げてまいります。

心の中の喜び、温もり。ああ、お母さんありがとうございます。

161 自分の身近な人で、学びに触れた人で、もうすでに死んでしまった人がいる人は、その人達に意識を向けて、現状把握していくことをやってみられたらどうでしょうか。

同時に自分の死後、死後の自分を語ることをしていけば、よりいつそう今、肉を持っていくのが大切だと実感できるのではないのでしょうか。

私は、そういうことを活用しながら私の勉強を進めています。

私の場合、愛犬の死も体験していますので、もちろんそちらのほうにも意識を向けています。

結果は言うまでもありません。分かり切っていることを実際にやってみるのも勉強です。その違いは歴然としますが、そういうことも自分の勉強のひとつに加えることによって、生きているということ、死んでいるということ、その境目はなく、みんな意識であるということが鮮明に心に響いてきます。

色々と自分で工夫して、瞑想を楽しんでいきましょう。自分を救うために生まれてきたんです。自分に本当のことを伝えるために生まれてきたんです。そこるところ、一日も早くスイッチを切り替えて、瞑想ができる生活環境を整え、喜んで今、学んでいきましょう。

197 私は、以前、「あなた、このまま死んでいいのでしょうか」という表題の本を出版させていただきましたが、この問い掛けを、今一度、自分にしてみてください。

もちろん、自分の納得のいく学び方をされて、自分の今を喜んでおられる学びの友もおられると思いますが、自分の中が不完全燃焼、くすぶり続けている、中

途半端という方も多々あると思います。

何で自分は生まれてきたのだろうか。何で自分は学びに繋がったのだろうか。しかし、学びに繋がりがながら今ひとつで、心が晴れ晴れとしない。ホームページに書いてあることがどうもよく分からない……。

こんなぶつぶつをこれからもずっと引きずりながら、あなたは死んでいくのでしょうか。

221 生まれてきた意味、人生の目的、死後の世界を、瞑想を通して自分の心で知っていけることを学んでまいりました。

「心を見なさい」ということが、どんなにすごいメッセージなのか、「あなたは愛です」というメッセージがどんなにすごいのか、それらを感じて知っていける絶好のチャンスに出会った私達の今世でした。

どんなに優秀な頭脳を持っていようが、才色兼備であろうが、由緒正しき家系であろうとも、財力、権力、知力が思いのままであっても、将来を嘱望されていても、違う、全く違っていったんです。

生まれてきた意味も、人生の目的も、死んでどうなるのかも、全く知らずに生きて死んでいくことが、どんなに自分にとって冷たくやるせなく愚かなことなのか、色々な現象を通してしっかりと学んでまいりましょう。

自分の本当にするべきことがありました。それは老いも若きも男も女もなく、万国共通のことでした。私達は死んで終わりではありません。死んでも生きています。死んで人生をリセットできません。リセットするためには、自分の心を見るしかありません。

224 肉を置くまで、しっかりと自分の心を見ていきましょう。肉を持たせてくれた母の意識に、そして本当の自分に応えていきましょう。

応えていけばいくほどに、本当に幸せな自分と出会っていきます。どんなに幸

せであったか、どんなに愛されていたか、すべては愛の中にあったことを心で知っています。

もちろん、肉を離しても、母の意識に、本当の自分に応えていけることがベストです。ただこれは非常に難しいです。

死んでもなお、田池留吉を呼べる、母を思うことができるでしょうか。どうぞ、自分の歩みを一歩進めてください。肉を持つ、持たないに拘らず、自分の中の温もりと喜びに出会えるか否か、それが本当に学んできたかの自己評価です。それを基に、二五〇年、三〇〇年の転生が計画されているのだと思います。全部、自分の計画です。

241 自分が死んだあとの時間を思ってください。死ねばひとりです。今、肉を持っているから、なかなか実感が湧いてこないかもしれませんが、間違いなく死ねば、自分の世界がそこにあるだけです。

そんな中で、自分はいったい、どのように存在しているのでしょうか。

本当にお母さんを思い、田池留吉を思い、呼べるのでしょうか。

そして、その手前の死ぬ瞬間はどうでしょうか。どんな思いが心から出てくるのでしょうか。

病気等で死ぬまで時間の猶予がある場合もあります。あるいは、一瞬のうちに命を落とす場合もあります。

色々なケースがありますが、生まれてきたんですから、必ず死んでいきます。肉体を持ちながら死を学ぶ今があります。この今という時、やはり愛以外にないでしょう。

今世、可能な限り学んでまいりましょう。

311 宇宙の藻屑ということについて、自分の現実として思ってみてください。あなたは、本当に自分の次の転生に、そのまた次の転生に繋いでいける学びをしてい

ますか。

死後の自分、今の肉を置いて、二五〇年、三〇〇年を思つて瞑想ということについて、先日の京都セミナーでもその時間を持たせていただきました。実際に、それぞれ自分の心にどんな思いが響いてきたでしょうか。

宇宙の藻屑、自分はそうならないと断言できますか。根拠は何でしょうか。

未だに心の中に他力のエネルギーをしっかりと抱え持っている方達は、本当に真剣に自分の現実を知っていかなければならないのではないのでしょうか。

宇宙の藻屑、ゆめゆめそうならないように、心して、今世の学びの時間を大切にしていきたいと思います。

テーマ 「エネルギーに語り掛ける」

Fさん、お元気ですか。  
あなたの心を語ってみてください。

はい、とても苦しいです。私は思いを閉じ込めてきました。自分のエネルギーを閉じ込めてきました。私の中のエネルギーは噴火寸前です。しかし、そのエネルギーを抑える力もまたすごいです。

どうして、こんなに自分を抑え込むのか、私は分からないけれど、何だかとても、とても、自分が偉かったんだ、そんな思いがしてきます。

はい、私は偉かったです。自分の苦しいエネルギー、真っ黒なドス黒いエネルギーを、心の中で確認することなく、私は、苦しい、苦しいと、ただただそのエネルギーを押さえつけていた。私はそんな自分がとても、とても冷たくて、己が偉かったんだと、今、思っています。

私の中に、優しさ、温もりがあるのかと自分に尋ねていけば、私は、まだまだ、まだまだそんなこと信じられないという状態です。

「あなたの中の愛に目覚めてください。あなたは愛ですよ。」というメッセージは、肉を通して、見たり聞いたりしてきました。

そして、「私は愛ですか。」と自分に尋ねました。しかし、私の心の中から返ってくるものは何もありませんでした。

「あなたは愛ですよ。」そんなメッセージが心の中に、本当は響いているんだけど、私は、まだまだ、本当の自分を信じられない状態です。

だから、私の中は苦しみです。苦しみ喘いでいます。自分を自分で抑え込み、そのエネルギーが、本当に自分の肉体細胞を痛め付けている。

こんなに冷たい私だったんだ、今、私は、自分の心を語り、冷たい、冷たい自分しか感じられない。偉い、偉い自分しか感じられない。

どうして、こんなに冷たくて偉くて、はい、始末の悪い私になってしまったのか。「お母さんのお腹の中にいた頃、私は、もっと、もっと素直にお母さんを思っ

いたはず。

お母さんに伝えていただいたことを信じていたはず。

ああ、お母さん、ありがとうと、私は、お母さんに言っていたはず。

そんな私を、もつと、もつと思いついてください。」と、私は、そんな声が、今、微かに聞こえてきます。

ああ、お母さん、お母さん。お母さんを心の底から呼びたい。

素直になってお母さん呼びたい。今、ようやく、自分の中を少し語ったとき、私の中から、そんな思いが上がってきました。

Fさん、そうですよ。あなたの中は、本当は素直なんです。優しいんです。しかし、その素直な優しいあなたを、全部、全部自分で抑え込んで、あなたは真つ黒なエネルギーだけを大きく膨らませました。

あなたの中の優しさ、温もりを、全部、全部、自分で抑え込んで、あなたは真つ

黒なエネルギーを、これが私だと、そのように思い込んできたんです。そのエネルギーで、あなたは、ずっと転生を繰り返してきました。

ああ、お母さんと呼んでごらんさい。お母さんです。あなたの中でお母さんは、いつも伝えてくれていました。

「優しさ、温もり、喜び。この限りない優しさ、温もりがあなたですよ。」ずっとそのように伝えてくれていたお母さんを思ってみてください。

ゼロ歳のときでも結構です。お母さんのお腹の中にいた頃のあなたを思い出してみてもいいです。

あなたも、長い年月、田池留吉との学びをしてこられた方です。どうぞ、お母さんのお腹の中にいた頃、ゼロ歳のあなた、どちらでも、あなたが、今、お母さんを思う思いを、すうっと心に広げてみてください。

Fさん、どうぞ、やってみてください。

お母さん、お母さん。素直にお母さんと呼んでいた私が、本当に懐かしいです。こんな私があったんですね。私は、今、素直にお母さんと呼べる。お母さんの目を見て、お母さんの腕の中に抱かれて、私はお母さんのお腹の中にいて、私はとても幸せな時間を過ごしました。

この私を思い出していきます。

これからの時間、どれだけ自分に残されているか分かりませんが、私は素直にお母さんと呼んでいきたい。

私の中の凄まじいエネルギーを、ほんの少しでも、自分の中で感じ、確認して、私は、そのエネルギーをこのお母さんの温もりの中へ帰っていききたい。今、そんな素直な気持ちにさせていただいています。

ありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。

Fさん、どうぞ、学びの時間を無駄にしないでください。ほんの少しでも、お

母さんを素直に思えるあなたに出会って行ってください。

あなたの中の苦しい思い、凄まじいエネルギーは、そのあなたを待っています。素直なあなた、優しいあなた、温もりのあなたを待っています。

凄まじいエネルギーはあなたです。しかし、その凄まじいエネルギーは、温もりに帰るあなたなんです。どうぞ、このことを信じていきましょう。



## ルシフォーに語り掛ける。

時を経て、ルシフォーに呼び掛けています。ルシフォーよ、答えなさい。あなたの心の中に、今、何がありますか。

私達は、母なる宇宙へ帰る、愛のエネルギーです。あなたの中にも愛のエネルギーがあります。あなた自身が愛なんです。ルシフォー、分かりますか。あなたは愛なんです。どうぞ、どうぞ、心をしっかりと母なる宇宙へ向けていきましょう。

温もり、優しさ、本当の喜び、本当の宇宙。宇宙は一つです。

私達の宇宙は一つ。一つの中にあつたことを心に呼び掛けています。

どうぞ、ルシフォー、心に向けていってください。

お母さんの優しさ、温もりの中に存在していたことを感じています。ああ、私

達の宇宙は、闇黒の宇宙は間違っていたことを感じ始めています。

苦しかった。彷徨い続けてきたけれど、私達は、ようやく、ようやく、あの母なる宇宙、優しさ、喜びの宇宙へ帰れる私達だったんですね。

ああ、今、今、呼び掛けていただいています。心の中を見つめてくださいと。そうです。暗い、暗い、真っ暗な中で、彷徨い続けて、我一番、私の宇宙をと、私達はそんな思い、エネルギーを流し続けてきたけれど、そのエネルギーはすべて温もりへ、愛へ帰れるエネルギーだったと、知り始めています。

宇宙は、ああ、ああ、変わっていく様子が私達にも感じられます。はい、はい、ありがとうございます。

苦しかったけれど、間違い続けてきたことが分かって嬉しいです。私達も、ともに次元を超えてまいります。宇宙が変わっていくそのエネルギーは、この宇宙全体に広がっていきます。

ああ、すなわち、私達が変わっていきける、それが喜びだったんです。

ルシフォー、ああ、私達はそうです、ともに、ともに次元を超えていく意識、エネルギーだったんです。心の中にあつた喜び、温もりをもっと、もっと全開にしていきましょう。私達はこれからも、さらに伝え続けます。

このエネルギーを、ああ、この宇宙へ流し続けていく、そんな計画の中に私達はあつたんです。ともに、ともに喜んでまいりましょう。喜びだけ、温もりだけがありました。

## 梵天に語り掛けました。

梵天と呼ばれた意識よ、あなた達も目覚めてください。

暗い、暗い、真つ暗な中に沈み込んできた梵天の意識、エネルギーよ、あなた達の中に安らぎ、喜び、温もりがありました。そうです。あなた方の本当の姿は、優しさ、温もり、はい、広い、広い宇宙でした。

はい、梵天の意識、エネルギーの変革を、どうぞ、進めていきましょう。梵天と呼ばれているエネルギーは、本当は何もありませんでした。ただただ愛のエネルギーに包まれていた意識、エネルギーだったんです。どうぞ、どうぞ、そのことを知っていただくさい。梵天と呼ばれた意識の世界はありませんでした。存在はありませんでした。

はい、私達は存在しないと聞かされて、何と、何と、ああ、びっくりしました。

しかし、そうだったんです。すべては一つ。一つの宇宙の中に。ああ、ああ、何も、何もありませんでした。

私達は間違っていました。この梵天の宇宙を見よ。私達の思いを聞け。私達のエネルギーを知れ。この宇宙こそ、すべてを牛耳っていくエネルギーが私達だ。そのような思いをずっと、ずっと、垂れ流してまいりました。

しかし、今、ああ、私達の世界は存在しなかった。ともに、ともに一つの世界があるだけでした。お母さんの温もりの中へ、優しさ、喜びの中へ帰れるエネルギー。そのエネルギーが一つになって、私達の中にも届き始めています。

変わっていく時期、変わっていくかなければならない、そんなことを感じます。ともに、次元を超えてまいりましょうと、力強いメッセージが届きます。心の中に、ああ、このエネルギーを感じます。ああ、すごいエネルギー。すごいパワーです。愛のエネルギーに目覚めてくださいと、メッセージを心に感じます。はい、はい、梵天も目覚めつつあります。

このエネルギーの中に生かされていたエネルギーだったことを感じるたびに、私達の中に、優しさ、温もりが届いてきます。

はい、ありがとうございます。苦しかった過去を私達はじっと、じっと見つめ、これからの明るい宇宙を求めて、私達は存在していきます。一つになれる喜びだけを信じて存在してまいります。

心の中より、アマンドール、語らせていただきました。

アマンドール、あなたも宇宙を支配してきたエネルギーです。

私の宇宙、その帝国を築いてきたアマンドールの意識。今、あなたの状態を語ってみてください。

アマンドール、あなたは温もりです。本当の優しさ、温もりを、あなたの中に蘇らせてください。あなたの状態を、今ここに語ってみてください。

はい、私はアマンドールと呼ばれた意識。その世界を築いてきた意識。アマンドールも変わってまいります。心の中の喜び、温もりを感じ始め、私達の喜び、温もりがここにあつたことを知らされています。

愛のエネルギーの中に存在する私達であつたことを心に感じます。

アマンドールと呼ばれた意識の世界は、すでに、小さく、小さくなつていきます。

私達もともに次元を超えていく意識であることを伝えていただきました。次元を超えていける私達の進化が、はい、私達の進化があるんですね。

愛ある喜び溢れる私達に蘇れること、そのことをただただ伝えていただきました。た。

私達はこのことを信じて、信じて存在してまいります。アマンドールと呼ばれた意識の世界は、愛溢れる世界へと蘇ってまいります。ブラックのエネルギーはすべて愛に帰る喜びのエネルギーでした。

温もり、温もりの中へいざなわれているアマンドールの意識を、今、ここに語らせていただきます。

アマンドールは、私達の中で、喜び、温もりの世界へ帰ってまいります。苦しいう宙を広げてきました。我一番の世界は、ただただ暗闇の世界でした。暗闇しかありませんでした。冷たさしかありませんでした。その世界に私達が存在してきたことを伝えていただき、そして、温もり、愛のエネルギーで包んでまいりますよ

うと伝えていただきました。

私達の思いを、今、今、語らせていただきます。

アマンドールの喜び、喜びを感じてくださいと。どうぞ、どうぞ、アマンドールを感じてくださいと。

アマンドールの思いは、喜びへ変わってまいります。我こそ一番なりの宇宙は、暗く、暗く間違ってきました。

心の中より、アマンドール、語らせていただきました。

万能細胞「STAP細胞」の作製の快挙のニュースが世界中を駆け巡りました。「STAP細胞」を含め肉体細胞の意識を聞いてみます。

STAP細胞の意識です。私達は人間の欲の思いに利用されるつもりはありません。私達を生み出したのは、人間の欲、欲です。私達はこんな形で生まれたいはなかった。発見されたくはなかった。私達が、どのようにこれから使われていくか。人間達に大きな弊害を起こしていきます。肉体細胞の思いを聞いてみてください。

肉体細胞の意識です。私達も全く同じ思いです。肉体細胞がなぜあるのでしょうか。そのようなものを生み出し、私達を全く無視していく人間達の底知れない欲望は、私達には理解できません。しかし、私達はそのような人間達の欲の思い

に拘らず、ただただ愛を流す存在です。私達の存在が、愛を流す存在であることを、肉を持つ意識に訴えていきます。

STAP細胞、iPS細胞、色々な形で生み出されていく細胞達。その細胞達の思いもまた、私達肉体細胞の思いと同じなんです。

「人間よ、気付きなさい。あなた達の愚かな思いに気付いてください。

あなたがなぜそこに存在しているのか。あなた達の本来の姿、愛のエネルギーに目覚めるために、あなた達の存在があるんですよ。」

私達肉体細胞、そして、STAP細胞、iPS細胞、ともに、ともに、呼び掛けてまいります。その呼び掛けは、人間達に大きな警告を発していきます。

STAP細胞にしる、iPS細胞にしる、今は、すごい発見だというニュースが世界中を駆け巡っていますが、その喜び、驚きもあとどのようになっていくのでしょうか。人間達に恐ろしい弊害が待っていることを、私達は伝えなければなりません。

肉体細胞の思いを心で感じる意識。その意識の目覚めを私達は待ち続けてきました。肉体細胞の思いに、すべての肉持つ意識達が気付いていかなければならなりません。

肉体細胞は愛を流しています。STAP細胞、iPS細胞は、肉体細胞が愛を流す意識であることに反逆する思いから生み出されたものです。

しかし、STAP細胞、iPS細胞には、何の罪もありません。

ただそれを発見し、得意となって、これから明るい未来が開けていくと信じて疑わず、研究に研究を重ねていく人間達の愚かさ、そして欲望の渦、そこに大きな警告を発していきます。自分達の愚かさ、そしてドス黒いブラックのエネルギーを、本当はもっと、もっと心で知っていただきたいんです。しかし、ああ、人間の心の中は、どうしてこのような愚かなものになってしまったのでしょうか。

肉体細胞の愛のエネルギーを心で感じてください。

私達肉体細胞は、ただただそのように訴え続けます。

もともと私達の体内にある再生力を高めるために、タンパク質を投入して、そのタンパク質が血管とか骨とかを形成するという再生医療のニュースを見ました。そちらのほうに意識を向けてみます。

私達は人間の再生医療に適用されるタンパク質の意識です。私達は、そのために、今ここに存在しているではありません。

人間達よ、間違った思いで私達を活用しないでください。

私達はあなた達の欲の思いに利用されるつもりはありません。ただただ、ただただそういう思いを感じるたびに苦しみがやってきます。

人間の心の中はどんなにすごいエネルギーの渦なのかと、私達はあなた方に警告を發します。

確かに私達を投入すれば、あなた達の体内で再生医療と呼ばれるものが完成されるかもしれません。その開発に総力を挙げて取り掛かっているということでしょう。しかし、果たしてあなた達の肉体細胞は、それを快く受け取ってくれるのでしょうか。

しかし、果たしてあなた達の肉体細胞は、それを快く受け取ってくれるのでしょうか。肉体細胞に思いを向けてごらん下さい。優しい、優しい肉体細胞に、どれだけの重圧をかけていくか分かりますか。

人間の欲の心は凄まじいです。私達はそれを警告しなければなりません。肉体細胞は、そこに健やかにあるんです。そこに手を加えて、いかにも、幸せ、喜びの人生をと研究なさっていくのでしようが、それは全く間違っています。肉体細胞の思いを知ってください。あなた達の中にある優しさ、温もりは、肉体細胞が伝えてくれているんです。

どんなに疲弊した肉体細胞であっても、その肉体細胞に思いを向けていくと、あなた達の心の中に必ず、必ず届いていくはずですよ。

それを打ち消していくかのような道を歩んでいくあなた達のこれからに、とても、とても闇黒の世界が待っていると私達は警告を發します。

どれだけの欲望の中に沈めば気が済むのか。私達はこの思いを伝えていきたい。それが私達の役目と言え、役目です。それを愛と思っていただけです。どうか。

あなた達の喜び、幸せとは何ですか。

あなた達の温もりの中に帰ることを知っていきましょう。

私達は、ああ、こんな使い方をされたくはなかったです。すべてを愛に帰す計画に、どこまで抵抗反抗していくのでしょうか。私達のメッセージをお伝えします。

### 73 田池留吉に聞きます。

バシヤールとは何ですか。

バシヤールは存在するのですか。

私は田池留吉の意識です。バシヤールというのは存在しません。すべては愛のエネルギーの中にある意識。愛がすべての意識の世界です。バシヤールと名前がついたものは存在しません。存在するとするならば、それはブラックのエネルギーです。愛のエネルギーと相反するエネルギーです。しかし、愛のエネルギーの中にすべてが吸収されていくのです。

バシヤールに心を向ける人達が多くなりました。そして、すべて狂いに狂った時間を過ごしていきました。バシヤールに魅力を感じた意識達、それは己の中に欲望があったからです。

私の宇宙というちっぽけな宇宙を、いかにも大きな、大きな宇宙として掲げて、



そして、己のエネルギーを欲の中で広げていきました。その中に埋没していった意識達は、未だに闇黒の世界に彷徨っています。

さて、あなたは、今、バシヤールという言葉を出しました。私はあなたの中で待っていました。バシヤールに心を向けていただけのことを。

そして、あなたはバシヤールという言葉を出しました。

バシヤールも、すべては愛のエネルギーの中に帰っていく意識なんです。しかし、バシヤールは闇黒の世界に沈んでいます。ただただブラックのエネルギーの中で苦しんでいる意識達です。その意識達に真実を伝えなさい。本来の自分の姿を伝えていくのです。バシヤールというのは存在しません。愛、愛しか存在しない中で、小さな、小さな世界を作り続けてきたんです。欲の中で、小さな、小さな世界を大きな世界だと思い続けてきた意識達に伝えていくのです。

すべては愛の中に一つなんです。バシヤールという言葉、エネルギーには温もりはございません。ただただ、ただただ闇黒の欲のエネルギーに満ち満ちています。

そのエネルギーも、しかし、愛のエネルギーの中に一つであることを伝えてください。

そういうことで、バシヤールに思いを向けることはとても良いことだと思います。バシヤールに、「愛のエネルギーは私達の中にありました。」そのようにはつきりとお伝えしましょう。

私達はすべて一つの世界です。何が大きいか、小さいか、そういうことではありません。

すべては一つの世界。愛しかなんです。愛はすべてを愛の中へ帰していきます。そのエネルギーが愛のエネルギーです。どんなに闇黒の世界にも愛のエネルギーは届きます。私達は、そのような意識の流れの中に存在しています。

どうぞ、心を本来の自分へ帰す道に、しっかりと、しっかりと向けていきましょう。私達は愛の中に一つ。愛のエネルギーの中に一つです。

74 昨日、バシヤールについて田池留吉に聞きました。  
今、私はバシヤールのほうに心を向けてみます。  
そして伝えます。

バシヤールという意識の世界、そのエネルギーは闇黒のエネルギー、真つ暗な中に沈み込んでいるエネルギーだと伝えていただきました。

そうです。私達は、本来は明るい、明るい宇宙。明るい宇宙、温もりのある広がりがある、どこまでも限りなく広がっていく意識の中にあります。

そのエネルギーを愛と私達は呼んでいます。

バシヤールという世界はなかったんです。ないものをあると思ってきたその心が闇黒の中に沈み込んでいる、その実態をどうぞ、知ってください。

バシヤールというものに心を向けてきた意識達よ、あなた達の中に本来の姿、本来の愛のエネルギーがありました。

温もり、喜び、広がり、安らぎ、優しい、優しい母の思いの中に私達があったことを、今ここに伝えます。バシヤールというものは存在しませんでした。

バシヤールに心を向けてきた意識達よ、どうぞ、自分の心をしっかりと見つめてください。見つめていきましょう。

どこまでも、どこまでも、限りなく広がっていく、無限に広がっていく、広い、広い、温もりのある世界。そんな世界に私達は存在しています。

バシヤールは特別な存在ではありません。特別だと思う心を見てください。愛あるエネルギーの中で、その優しさ溢れる、温もり溢れる中に私達は存在しています。

どうぞ、ともに歩みを進めてまいりましょう。何も隔たりはありません。

ともに、ともに、ともに、ともに存在していくことを、ただただお伝えします。バシヤール、あなた達は私達の中にあります。私達は一つです。私達は愛のエネルギー。愛に帰っていくエネルギー。すべては一つ。すべては愛の中にある。

このことを私達はお伝えします。

## 189 海底火山

瞑想をしていると、ふと海底火山という言葉が浮かんできました。  
そちらのほうに意識を向けてみます。

私達の思いを感じてください。私達の出番を、今か今かと待っています。喜びで、喜びで私達は自分達のエネルギーを噴き上げていきます。

私達のエネルギーは愛のエネルギーです。この地球上に肉を持った意識達、肉を持たない意識達、すべてに次元移行を伝えていきます。そのエネルギーを私達とともに感じていつてほしい、いつていただきたいと思えます。

いたずらに恐怖して自分を落とし込めることはないようにしてください。私達は愛に帰る喜びの道筋をしっかりと歩いてまいります。

心の中を見つけてください。私達は海底火山。あなた方と無縁のものではありません。

ません。

かつて私達とともにこの海の底に沈んだ意識達、たくさん、たくさんごさいます。そして、その意識達が再び肉を持ち、このように学びに集っている現実もお伝えしたいと思います。

私達、海底火山の思いをお伝えします。ともに、ともに愛に帰る道をただひたすら歩いてまいりましょう。間違ってきた道を歩き続けてきた意識達の目覚めを促していききたい、いこうとしています。

意識は確実に流れています。愛のエネルギーは確実に流れています。厳然としてあります。この大きな広がりのもとで、ただただ一つ。愛に目覚める道をただただひたすら歩いていきましよう。

## 244 エボラウイルスに思いを向けてみました。

私達、エボラウイルスの思いを聞いてください。

私達が、あなた方を苦しみの奥底に陥れるはずがございません。

私達の本質は愛なんです。人間達の心の中には、私達の思いが届かないようになってしまいました。私達は恐れる存在ではございません。確かに私達は人間の命を奪ってしまうでしょう。そんな威力かもしれません。

しかし、私達は警告を発しているのです。苦しい、苦しい心の中を見てくださいます。

エボラウイルスに思いを向けたときに、私達の思いを心から受け止めてくださる人が、いったいどれほどいるのでしょうか。

ただただ私達は憎まれものです。厄介者です。私達を消し去ることしか考えていません。なぜ私達が存在しているのでしょうか。

私達は愛なんです。人間の心の中に届いてほしい。この波動を届けたい。エボラウイルスは、私達の思いを聞いてくださいという思いの表れなんです。そうなんです。私達の思いを聞いてください。私達はエボラウイルスという形となって、ただただ思いを伝えられたんです。思いを感じていただきたかった。苦しい、苦しい心の中を見てほしかった。ただただそれだけです。命を容赦なく奪っていくような存在、恐れられている存在ではありますが、私達の思いは全く違います。

私達は愛でした。そのメッセージを伝えんがために、エボラウイルスという形になって、私達は警告を発しているんです。

心から、心からこの思いを受け取ってください。ああ受け取ってください。エボラウイルスを恐れることなく、ただただ心を向けていただきたい。

優しい母のほうに心を向けていただきたい。苦しい中にあるのではなく、あなた方は愛なんですと、ただ私達はそうようにお伝えします。

### 336 私の中のクドーラ。

クドーラとは、肉を本物とする思い。形を持った意識は、このクドーラという思いを大きく膨らませてきました。すべては肉、形を本物とするところから出発しています。その中に、幸せ、喜びを勝ち取ろうとする思い。その思いの中には、まわってきたこの三次元の意識達でした。

そして、クドーラ。今、心を向けます。

クドーラも、愛、心のふるさとへ帰りたいと叫んでいます。それぞれの心の中で、肉を本物とする思いがどれだけ冷たくて、苦しくて、寂しくて、小さな世界に閉じ籠って来たか、その心を自分の中で感じてみてください。クドーラを心に呼び寄せ、そして、ともに、ともに愛に帰ろうと心を向けてください。

温かい優しい温もりの中にあった私達でした。そして、母の温もりの中へ帰るべき私達でした。そのことをどうぞ、どうぞ、クドーラにも伝えてください。

たくさんの間違いを繰り返してきたけれど、クドーラも、また、ようやく、ようやく目覚める時がやってくるのです。

クドーラというのは存在しません。ただただ寂しい、寂しい、暗い、真つ暗な中で、母を呼び、温もりを求め、心のふるさとへ帰りたかったと叫んでいた意識です。私達はともに帰ります。愛、心のふるさとへともに帰ります。クドーラよ、ともに、ともに、ともに、ともに帰ろうと呼び掛けるこの呼び掛けを、しっかりと心に広げてください。

もう苦しまなくてもいいんです。悲しまなくてもいいんです。自分を大きく見せる必要ありません。温もりだったんです。広がりだったんです。苦しかった心をどうぞ、どうぞ、しっかりと見つめて、母の温もりの中へ、愛の中へ帰ってまいりましょう。

私達、クドーラの本質は愛だったんですか。そう、私達は実体のないものをつかんできました。ああ、自らつかみ、自ら苦しんできたこの意識の世界でした。ただただ母の温もりの中へ、優しい母の温もりの中へ帰りたかった。そうです。帰りたかった。ああ、私達の存在は愛だと伝えてくれている。ともに帰りたい。ともに帰りたい。ともに帰りたい。

境目も何もない。ただただ愛だけが存在する。心の中に広がりが存在する。そして、そこにはただ安らぎ、温もりが広がっていく。田池留吉、アルバートに一つの世界がただただ広がっていく。この世界の中に、ただただ一つに溶け合っていく喜び、幸せだけを信じていきましょう。

心の中に喜び、温もり、確かな世界がありました。クドーラも目覚める時。クドーラは存在しなかった。すべては愛でした。すべては愛へ帰る意識でした。クドーラなど存在しなかった。苦しい思いは、自らを捨てた中で、大きくしてきただけのことでした。自らを捨てたことに気付けば、クドーラは心から消えていきます。

そして、優しい母の温もりだけが広がっていきます。喜びの世界に帰っていく私達でした。



「意識の流れ」ホームページより

私の瞑想より vol.2

---

初版発行 2015 年 10 月 31 日

著 者 塩 川 香 世

装 丁 金 子 互

組 版 朝 日 め ぐ み

電子図書製作 一般社団法人 U T A ブック

発 行 一般社団法人 U T A ブック

TEL 0721-69-7812 FAX 0721-69-7954

印刷・製本 モリモト印刷株式会社

---

© Kayo Shiokawa, Printed in Japan 2015